

6・24

昨日（土曜日）は、地域公開日という名目の参観授業だった。3時間のうち1、2校時が参観。国語「白いぼうし」とわりざんの「倍の計算」の授業をした。「白いぼうし」では、「最初の紳士の質問は、タクシーに乗ってからいつしたのですか？」という発問を時間の最後にしたので討論がにつまらず宿題とした。それにしても3人のやんちゃ君たちは、こういう時は、大変はりきる。しっかりほめておいた。

今日は、午前中学校へ行って教材の印刷。昨日は、疲れたので午後から年休をとったので仕事をしなかったから。今年度は、5月から土曜か日曜どちらかは、学校へ行っている。なんせ仕事がおっつかないのだ。夜は〇つけをしている。

休みの日は、本当にほっとする。後1週間で7月。1カ月で夏休みというように短期目標を設定してとりあえずそこまで頑張ろうと思う。

6・25

今日は振替休業日。変な1日だった。午前中〇つけを終わらせて図書館へ行く。帰って来たら図書館から電話。免許証を預かっていると言う。なんと本を借りる時、ポケットから免許証を落としたのだ。また図書館へ。

午後から息子は大学。娘は、高校。妻は用事でいないので短時間でたまっていた（気になっていた）家事労働を一気にする。ようやくすっきり片付いた。

夕方。自転車で紀伊国屋まで。TOSS英会話を購入する。確かに5、6月から書籍代が増えた。このSNSもそうだが、こういう世界があるとは知らなかった。前にも書いたが、今の子どもたちに出会わなければ多分知らずに退職していくだろう。

しかし、現実はそのようなことを言っている場合ではない。また今から準備して明日にそなえなければならない。

6・26

今日も悲惨だった。休みの次の日は、集中がむずかしい。「反抗挑戦性障害」のTは、リコーダーの時、ピーピー高い音を出して妨害する。全然吹けないのだ。全員に「この音嫌だと思う人」と聞いてみんな挙手。それを見てようやくおさまる。それでも高いミの時は、ちゃんと指をしていた。ひとりひとりすばやく確認した。

R子は、給食準備中、逃亡。外の玄関に座っているのを見つけて連れてくる。この子は、伝わるのがむずかしいボーダーラインにいる。窓の棚には、ヘチマを植えた鉢をたくさん置いて落ちるのを防いだ。ハサミは、見える所からしまった。教室の私の机の中もきれいにしている。なんせのぞく子が3人いる。

6時間目「人権」という言葉を辞書でひかせる。「生きる権利」を確認。Tの暴言や個人攻撃は「人権侵害」にあたることを言っていかなければならない。負けてはいられない。

Tに何か言われたり、泣かされたりする子には「一緒に闘おう」と同盟関係を作るように

している（なさないけど）。ネバーギブアップ。

6・27

今日は、1時間目算数のTT。今、週2時間再任用の先生がお二人各学級に入っている。この前Tに張り付いてすっかりTの反発を買ってしまい申し訳なく思っている。訳を話し、今日は、Tにはつかなかった。どんな形でも今の学級にもう1人教師がいることは、少しは、よい。

3時間目。人権教室。4人の人権擁護委員の方が3クラスにお話とビデオ視聴。その後の質問に答えるのは、2組、3組の子たちだけ。1組はたった1人だけであった。様子を見てみると、やはり聞いていないから答えられないのだ。（質問自体は、わかる子用であったが）しかしそういうこと（質問する人がいない）に対して何も感じていない。

「学級崩壊」のパターンがある。また「学級崩壊」の「文化」もある。それをしっかり見極めたい。5人は、赤ちゃん返りのようにまるで1年生でもある。実際には4年生なので指導をむずかしくしている。

5時間目は、2、3組がグラウンドでハンドベースをしているのでTやOやHやRは窓の方に行ってながめている。プリントをできた人から「図書館で調べ学習」と言う「オー」という声。その後、Tは時間を延長して星座を調べていた。

体育と休み時間が生き甲斐で、やりたくない学習をしたくないだけなのだ。と思う。

6・28

今日もTとクラスの子どもがケンカをした。昼休み「かたき」という遊びの最中である。

5時間目、関係者を集めて別室で話し合う。本当にささいなことが原因である。

総合学習の調べ学習でRは、画用紙に「死ね」と大きく書いていた。他の子は、資料の取り合いでカッターナイフを出していた。Rには、「今度書いたら園の先生に連絡します。」と言った。カッターナイフを持っていた子には、親に手紙を書いて封筒に入れて持たせた。

へたな総合学習は、子どもをかえって混乱に導く。と思った。

以前に例会で話したが、3クラスの担任のうち2組の先生は、「全生研」の先生。3組は、臨採の先生で2組についている。話し合いでは、2対1で負けてしまう。この2クラスは、えんえんと帰りの会をしている。

また合同の授業でも始めと終わりの挨拶を気にする。時間は伸ばす。形式にこだわる。総合もこの方の提案だ。行事では実行委員会方式が大好き。□学打ちもえんえん長くする。3クラスともそろって同じことをしなければ気がすまない。自分の考えは、絶対引っ込めない。などなど。

残念だが学年の中で心から悩みを話すことは、できない。一度実態を話しただけ。しかし、くやしいけど昨日書いたようにこの2クラスの方が、1組より子どもたちが育っている。そこは、認めざるをえない。

こういう学年関係の中で学級もとりにくんでいかなければならないので一層、問題をむずかしくしている。

6・29

今週も終わった。同時に6月も終わる。今日もまずいと思いながらも T と口論になる。これ以上やったらまずくなると思ってやめることができた。それにしても T の「反抗挑戦性障害」には、ほんとに辟易してしまう。弱点をつくのが先天的にうまいのだ。というか、多分小さい時から注意されているので自分を防御するために他者を攻撃することが身に着いてしまったと思う。存在をも否定する言い方には、いつもくじけそうになってつい口論になってしまう。悪循環であるのは、十分に分かっているつもりなのだが。算数の割算のテストもとうとう白紙でだしてしまった。こういう時は、どのように対応するとよいのでしょうか？

5時間目は、引き延ばしていた学級での集会をした。彼は集会係。こういう時と体育のハンドベースは、はりきるのである。集会では、「私はだれでしょう」「20のとびら」「伝言ゲーム」「5W1H」のゲームをしてなんと全部受けていた。さよならの時ハイタッチで彼もしていった。

金曜日は、1週間の終わりで疲れる。仕事が遅い。ポカミスが多い。いらいらする。家に帰っていつも横になっている。これを書くということで少し整理できる。こういう表現の場があってよかった。

6・30

午前中、学校へ。7月4日に迫った青少年科学館のしおりの印刷と温室でへちまの苗を植えてきた。土か日に1度行くのが習慣になってしまった。と、日直の方とおしゃべり。

昨日、年休（いろいろめんどくさいので）をとって白川へ、へちまの苗をもらいに行った。玄関をでる時、まだいたうちのクラスの女の子が、門の塀の上に腰かけていた。ちょっとあせった。もし後ろに落ちたら、1メートルぐらいだけ後頭部を強打する。うちどころ悪かったら...

ザードのいずみさんのようなことが起こらないともかぎらない。そういえば、最近ケガが増え保健室に行く子が多くなった。多分授業が落ち着いてない証拠なんだろう。心してかからなければ。

この年で学級担任は、こういう状況では、さすがしんどい。でもこれは、私が選択した道なのだから精進していかなければならない。まだまだ伸びると思う。こうして考えると昨年12月ごろから小さなアドバルーンは、たくさん上がっていた。どうにかしなければと思っていてもどうしたらよいのか手立てがわからなかった。半年たってようやくわかった。これも進歩だ。

北大教育学部の教育臨床士の先生と今年の2月から月1回の割りで教育相談をしている。

「T 君は、K 先生がもっと強くなるようにと神様がつかわしてくれた試練なのだ。」と
てくれた。そう思いたい。

7・1

今日から7月。後3週間ちょっとだ。今日は、エネルギーシンポジウムで教育会館へ。
向山氏のお話を初めて聞いた。教師の仕事は事実を教えることを強調していた。いろいろ
知っている名前も出てきた。

伴先生の模擬授業は、うまいと思った。他の方々も学習や練習がすごいのだろう。エネ
ルギーについても別の視点を与えられた。

日記に対していろいろなコメントやアドバイスどうも有り難うございます。参考になり
ます。

T 君、やんちゃな子に対して口論になりやすいのは、言葉で説得しようとするからなのだ
ろう。言葉で勝ちたい、言い負かせたいという意識が強過ぎると思った。「死ぬ」と書いた
子に対してもそれを押さえたら多分かえって抑圧が高まるだろう。なぜならこの子は、母
親が「死にたい、死にたい。」という言葉聞いていて、そして実際その場面を見ているか
ら。

5年前、前の学校で1、2年生を受け持っていた時、やはり ADHD の K 君と虐待、ネグ
レクトされた子の2人がいた。その時は、もうこれ以上の子は、出てこないとその時のレ
ポートに書いた。が、それは撤回しなければならない。仕事が遅くなったりポカミスが多
いのは、それだけ今の子に捕われているからだと思う。もう少し余裕を持って相対峙した
いものだ。

7・2

今日も惨敗だった。T は、4時間目から集中力をなくして声を出し始めた。それにつられ
て R も。静寂の中での学習には、ほど遠い。そもそも勝ち負けで考えない方がよいのか。T
と R には、ち密な戦略と組織的力が必要だ。相性の問題ではない。1策、2策、3策、4
策ぐらいでへこたれてはならない。ほんとに万策つきるまであきらめない。(誰かの日記に
書いてあった。向山さんの言葉と)

行きと帰りの地下鉄の中で「退職までの6年間。追いつき追いこせ向山洋一からのメッ
セージ」(向山全集)を読んでいる。多分、追いつきも追いこせもできないが、せめて最後
尾が見える所までは行きたい。

僕が、本当にしたいことは、何だろうか？考える。人生や教師として輝いていた時は、
あるはずだ。まだ子どもたちが小さかったころ。40代で仕事をばりばりやっていたころ
だ。確実にその頃には、もどれない。そうだとすれば、今やることと本当にしたいことを
区別してそれぞれ考えて進んでいかなければならない

7・3

昨日、Tの母親に電話する。折り返し電話すると言ってそのままになった。夜、働いているのを知っているので電話しなかった。今朝Tは「夕方電話して。」と言ってきた。今日は、6時間。6時間目の音楽は、完全に集中力が切れて、リコーダーを股の間にはさんで見せびらかす。周りの女子は、気持ち悪がって机を離す。家庭訪問で母親が「性に興味を持っている」ことを教えてくれていたので理解はしていた。「やめなさい。」と言って、指揮を続けていると今度は、指揮のまねをしていた。

後半は、図書室で読書をして落ち着いて過ごした。その間は、昼休みRが女子に輪ゴムでちょっかいをかけたことについて話し合った。謝らないので、だっこして謝らせようとすると、そのだっこを喜んでいて。

同じ施設のY子は、3時間目の体育の帰り玄関に寝転んだまま。「教室にもどるよ。」と声をかけると、「おんぶ」と言うので3階までおんぶした。この子たちは、やっぱり愛情に飢えていると感じている。

さて夕方に電話して最近のTについて少し話した。今日のリコーダーのことも。根本的な解決にはならないけど定期的に電話をして様子を伝えている。

今年の3月に校長にクラスの実態を話して、持ち上がりの担任を降りたいことを申し出た。以前書いた北大の先生とも話し合いを続け、今担任をやめたら逃げたことになる。後々まで負い目を見るようなことを言われ、前に日記に書いたことも（神様からの試練）言われた。

当時の私は、Tを持つことによる不安と恐れがあって、もしなったらTがますます暴力化し私は休職するだろうと思い込んでいた。（今もそれはないわけではないが）そこで考えたことは「教師の責任とは何か？」だった。

春分の日の休みに校長の携帯に電話をして、持たないことの撤回をしてその通りになった。そして4月のTOSSデーにつながるのだが...

今もこの判断がどうだかわからない。最終判断は、来年の3月だと思っている。そう思っ
て進んでいきたい。

7・4

今日は科学館見学だった。先日の春の遠足で集団行動がめちゃくちゃだったので今回は少し力を入れた。まず朝教室を出る時、体育帽をかぶるが、Tは手ぬぐいをまこうとする。（この前の遠足で途中からしてそのまま許してしまった苦い経験があった。以前いた先生のまねなのだが）今回はダメとして許さなかった。「体育帽かぶった人から廊下に出て」と言ってまずは第1ラウンド終了。歩き方や地下鉄の中は全体に気を使った。Rは、すぐ別行動をとろうとするのでそれは許さなかった。第2ラウンド。

無事科学館についたらS先生の4年生がいた。係りの人に来たことをつげ話しをしてもらってプラネタリウムへ。まずまず観覧はよかった。終わって1時間グループ行動。これもよかった。と思っていたらH君が泣きながらやってきた。プーマと書いてある筆入れをなく

したという。(Hは5人のなかの一人)二人でいろいろ探したがなかったので受付けに行っても連絡してもらおうようにした。昼食は外。そこでアリやハチでキャーキャー 大さわぎ。昼食も半分しか食べれなかった。帰る時、もう一度受付けに行くと筆入れは届いていた。

帰りの地下鉄も神経を使った。Y子は疲れて半分寝ていた。

学校に帰ってきて学うち。なんとそこで最終ラウンドがあった。2組の先生が総合学習のことでくっつかかってきた。地域の調べる場所は同じだが、そもそも考え方が違うのだ。「あまり興奮しないで」と言って争うのはやめた。明日とあさって合同でやるというのをあさってだけにいとめた。家に帰ってきてからインターネットでドームとかすべてプリントアウトした。この最終ラウンドが一番きいた。

今回のことでクラスでも学年でも小さなアドバルーンを少しずつ許していると後から取りかえしがつかなくなったり、もとにもどれないぐらいになってしまうことを改めて学んだ。

7・5

今日は例会へ。ホントは模擬授業をしてみてもらった方がよいのだが、その余裕がない。今はとりあえず吸収していこう。

今日は、昨日のことを「科学館新聞」として書く。Y子は、こういうのは全然ダメで途中からいなくなる。特別支援の学級で担当の先生に嘘を言ってちゃっかり勉強していた。この先生とは以前からY子について話し合っている。というのは、Y子は、「ひまわり学級に行きたい。」と言っているのだ。それも知り合いの施設の5年生の子もいるからだし、いごこちもよいのだろう。普通学級の教師としては、悩むところだ。

みんなではない、TとHとOとRとY、それぞれこの5人なのだ。S先生が科学館で問題の子の弁当を見たようにしっかり見なくてはならない。

7・6

今日もY子だった。4時間目の総合で一人うろうろしていた。屋上への階段を上がったり、階段落下防止のネットに物を投げ入れたりして、私が本気で怒ったら泣き出す。こうなったら手のつけようがないというのは、わかっているのだが。結局、クラスみんなには、給食を食べてもらって、おんぶをして二人でビオトープ一周。遅れて給食を食べる。このことでも「ひまわり学級」を考えることは、パスした。彼女の言うことは、ほとんど嘘。Y子の言うことには、おんぶされた経験はないということ。これはホントかもしれない。母親は2年生になる時、亡くなったので、今も指しゃぶりや口の中でくしゃくしゃしている。父親は、いることはいる。

べろもよく出す。最初訳がわからなかったので怒っていたのだが、北大の先生から「口唇期」ということで理解できた。TはY子のことを「早死にする。」と言っていたことがあった。なんせ母さんに早く会いたいのだ。だから話しをする時は、その辺りも気をつけながら話す。Rもそうだが施設の子は、人生に対してなげやりになる傾向があるように思う。やは

り小さい時の経験か。だから生きる価値を含めて説得する。

今日は T も変だった、体育の終わりに 3 組の子とケンカをしたり、給食終わりに私にべたべたくっついてきたり、もしかしておんぶされたい子が、いっぱいいるのではないだろうか。と思っている。

7・7

今日は、今度、総合学習で訪ねる農業研究センター、ハリストス教会、福住寺を訪ねてきた。(他には、札幌ドーム、八こう学園、36 号線、羊丘展望台、ラウネナイ川、吉田川公園、日糧パン、など)

いろいろ考えたが、今のクラスは、「学級崩壊」ではなくグレイゾーンの子が 5 人（こう考えるとちょっといるが）いると考えた方がよいみたいだ。その子たちとどう対応していくかだと思い始めた。

昨年は大崩壊の学級が 1 クラス、中崩壊のクラスが 1 クラスあった。大の方は担任もたいへんだった。多くの子どもたちを敵にして脱走もしばしばであった。今年度は 4 月から休職。中の先生とは、今私の話し相手ですがよく理解してくれる。

先日のエネルギーシンポジウムの資料の中に「よ～そろ」という新聞が入っていた。そこに向山洋一氏の文と中ほどに平井雷太氏の文があった。ちょっとびっくりした。ここ数年平井さんの考現学（現在のことを考える学問）に関わってきたからだ。こうして書くことの意味もそこで学んだ。

クラスで「らくだプリント」も取り入れてやってきた。今は「あかねこ」に変わってしまったが。これから今日と明日ゆっくりすごしたい。

7・8

昨日、今日でたまっていたビデオを見た。「明日への記憶」「フジ子ヘミング人生の軌跡」「吉田秀和」などなど。「明日への記憶」は、渡辺謙がうまかったな。結論は、冒頭のシーンだった。

フジ子ヘミングは、最後の方で「人間の気質の中で最高なのは、寛大さ、人を許せるということ。誰一人同じ人はいない。自分と同じようにしようとするから戦争やけんかが起きる。」と言っていた。またニューヨークのハーレムの施設を訪問していた。その施設には「手は殴るためにあるのではない。なんのためにあるか考えよう。」と書いてあった。

吉田秀和。「人間は生きているかぎり自分を信じ愛するものを力をつくして大切にすることができない。」と。

久しぶりにクラビノーバの練習をする。この前、野球の試合で小指を痛めたので弾けなかった。ついでにリコーダーも。

まだやることは残っている。私の敬愛する森有正氏は、「仕事は、永遠に続くものとしてやらなければならない。」と書いてある。その方向で進んでいこう。

7・9

2日間の休みで得た余裕も今日ですっかりふきとんだ。1時間目国語、2時間目算数、3時間目社会、ここまではよかった。次の保健が準備不足でだめ、5時間目の理科が終わってからの「はりきりタイム」というやつで図書室での読書がだめだった。要は、準備不足の授業と目を離して何かやるということは無理だ（グレイゾーンの子にとって）ということが改めてわかった。Y子は、Tに何か言われて帰ろうとした。それをとめて話し合おうとすると窓を開けて飛び降りるまね。また転校してきた男の子は、Tの言葉に傷つき泣き出す。残らせて話を聞くと、Tみたいなのは、初めてで対応の仕方がわからないので教えてあげる。

帰りがけ養護園によって教務担当の方とY子

R君のことについて話し合った。Y子は、相談室へ行く方向でこちらからも記録をつけることとした。

本音言うとも私もなんとか夏休みにたどりつきたいと思う。それとここで倒れるわけにはいかないし、ここでやめるわけにもいかない。

休職する先生は、はっきりこの日までというふうに割り切るのだろうか。校内で同僚とかに何かを話しサインを出していたのだろうか。最終的にこの方向を選択しないのならばやはり「居直って」やるしかないと思う。そのことを教えてくれたのが向山氏だ。

私は向山氏と今までなぜ出会わなかったのだろう。確か1986年ごろ一つ上の先生から「教師修業十年」を「これを読みな。」と言って渡された。確かに読んだ。「斉藤喜博に影響された先生ってやっぱり多いんだ。」と思った。跳び箱のビデオも録画した。「これから十年僕も修行時代だ。」とその時思っただけだった。向山氏が言っているように感覚的本能的に受け付けなかったのかもしれない。

それが今回こういう状況で出会うことができた。それは僕自身が受け入れる度量ができたからと思っている。今はどれだけ時間があっても足りない。

確かに2つも学級崩壊すれば学校体制が問われると思う。現に休職している先生がいるのだから。

7・10

今日は、第1回のプール学習だった。去年は全体である程度練習した後、クラスごとに見た。今年は、学年の話し合いでA、B、C、Dと分けることになった。みなさんは、どのようにしていますか？

プールの後の5、6時間目は勉強にならんと思って。図工、理科の工作とした。図工は、空の描き方。と以前描いた木の絵に空を描いていくというもの。やり方は、キミ子方式。

理科は、月齢板づくり。この2つは、まあまあよかった。

私が、教員になった頃は、まだ法則化は、なかった。まだ民教や仮説や社会科の授業を創る会や、「ひと」や昨日書いた斉藤喜博さんの実践などが強く、私も影響された。それは、

今も残っている。それこそ齊藤喜博を追って群馬の研究会に出かけ、レコードも録音してきた。

仮説の授業も取り入れ、結局明日の参観もその授業書にした。

ドル平もそうだ。T O S S の実践でドル平があるのに、向山さんの本に社会科の授業の会の実践が紹介されているのに、どこかでつながりが、あると思った。

校長が長期休業中の出勤の場合は、8時半ごろから4時半ごろまでと言っている。クロック時間（時間通りにやる）ではそうかもしれない。しかし平日（休日）の超過勤務を帳消しにするような合理的な配慮を管理職は考えるべきだ。と思うがどうだろう。

7・11

今日は参観懇談だった。理科の「月と星」だが仮説の授業書を使った。最後は、月へ到着したアポロ11号のDVDを見て終わった。結構集中していた。5月に行なった国語、算数の「学力テスト」の結果を配ることになっていたので懇談に20名も残った。それだけ関心が高いということなのか。しかし平均点は3クラスの中で一番低い。

総合学習の施設見学を来週に控え、相手とのやりとりや依頼文などで時間をとられる。昨年ある程度、この地域の調査をしていたので少しはよいが。懇談で総合のボランティアを募る。果たして何人来るのかな。

多分、座骨神経痛だと思うが、夜になると痛みがくる。もう5年ぐらいになるが慢性胃炎で夏休みは、毎年胃カメラを飲んでいる。3連休そしてよれよれで夏休み突入か。

7・12

国語のテストがないないと必死で捜していたら、なんと以前に既におこなっていて点数もつけ子どもたちに返していたことがわかり、愕然とした。「明日への記憶」にはまだ早い。要は、毎日が忙しく、やることが多過ぎるのだ。体の他に、心も脳もパンクしないようにしなければならない。

以前紹介した地下鉄の中で読んでいる本に今日次のようなことが書いてあったので書きとめておきたい。

「かつて全国に流行した作文の会、文芸研、数教協、などには、ホームラン教材はない。齋藤喜博の教授学研究会も作り出せなかった。民教連でホームランとっていいのはただ一つ、仮説の授業書のみである。

新旧文化決戦のとき～「新しい教育文化」と「古い教育文化」との戦いである。古い教育文化とは、「学級崩壊」に代表される。「学級崩壊」を生んでしまう教育、そしてその原因を子どもにかぶせ、社会にかぶせ人のせいにしてしまう教育文化である。新しい教育文化とは、学級崩壊の原因を明確に示し、学級崩壊からの生還を実現する教育文化と教育である。」

こういう意味で、ほんとに毎日がそれこそ必死の闘いです。

7・13

始まったばかりの夏休みがうれしいように金曜日の夜が一番リラックスできる。

一週間の疲れたまる金曜の夜仕事やめ妻とともに発泡酒飲む

これは、3年前「札幌市民文芸21」に投稿した短歌。当時は短歌づくりに凝っていた。それも題は「職場から」だった。

今日は、保健の学習で北沢杏子さんの「二次性徴」の児童向けのビデオとNHKの「赤ちゃんこの美しき生命」を見た。夏休み前、見てよかったと思った。なんせTが知ったふうにませたことを言いふらしていたのだった

から。Y子もそうだった。結構みんな真剣に見ていた。

学校帰り、農業専門学校（八こう学園）、ハリストス教会、福住寺に寄って依頼文を渡す。総合のため。

帰って来てから病院二つ行く。座骨神経痛含め二つともOKだった。

安心の金曜日でした。

7・14

朝8時20分に出て36号線を行って10時10分苦小牧についた。神谷祐子さんは、話し方やしぐさからほんとに大阪人だと思った。でも子どもの頃つらい体験をして今があるということもわかった。大阪市や特に神谷さんが移動した地域は、学級崩壊がすさまじらしい。その取り組みを話してくれた。すぐ実行できること、例えば寝る前に「～かわいい」と10回となえるとか、あってよかった。やはりそういう子や学級を持つことが自分のステップアップにつながったとも言っていた。学校に来るということでもほめる、生きていることもほめるに価するということ。

H先生が来ていました。

夜BSで「五つの赤い風船」のコンサートTVを見る。なつかしく、うれしかった。実は今もこのグループと泉谷しげるのレコード(!)を聞いている。「まぼろしの翼とともに」などよく口づさむ。西岡たかしのように老いていければと思った。今思えば恥ずかしいが、このグループの「遠い世界に」(以前中学の教科書に載っていた)を新卒の時授業に取り入れていた。

神谷さんが、すさまじいクラスを持っていた時、よくヤクザ映画を見ていたと話していた。どうやら、たんかの切り方を学習していたようだ。わかる気がした。

7・15

休みが3日あると、やはり落ち着く。それでもやっぱりテストの〇つけをして、また座骨周辺が痛くなった。これは、運動不足だと思う。医者におなか辺りの筋肉がないと言われた。夏休みは、少し鍛えなければならない。普段から背筋を伸ばし姿勢をよくし、声がよく通るようにして、鮮明にしていきたい。これも毎日の努力か。

今日は、中央図書館に行ってきた。自宅から車で15分ぐらいなのでよく利用する。とか私の教材研究の宝庫の場所なのだ。アポロ11号のDVDもここから。

後、散歩する時は、豊平公園。去年は、ここで「モチモチの木」のトチの木をデジカメで写して授業で使った。今年は、実をとろうと思っている。

以前は、豊平川でジョギングをしていたが、ここ数年していない。歩く方がよくなったからか。

そろそろ夏休みの計画をたてなければ。

7・16

今日は、午前中学校へ行って1時間弱仕事。いつも1時間以内で押さえるようにしている。これが夏休みだと出勤にならないのか！

午後から北大へ、教育相談日だった。これも1時間弱話しをする。Y子に対しては、特別支援教室を選択する方向もありうるということ。彼の意見では、子どもの暴力性は、昔からあったが、現在は、人生早期における安定した情動、感情の体験交流が希薄になっており、他者との関わりや協働性、文化を媒介として暴力性が昇華されていくというような意見だった。(レジメから)

「落語を聞きなさい。」と言われた。夏休みは、幅広く人間をみがかねば。

7・17

もう7月17日かと思う。後1週間だが、2学期につながるように終わりたい。そのためには、やることがある。今日は1、2時間目プール。趣意説明をして、AからDに分けておこなう。5、6時間目は、総合で八こう学園(近くにある農業専門学校)説明を受けて見学。菖蒲園まで見せてくれた。課題は、やっぱり挨拶だな。

以前、新旧教育の対決と書いた。学級崩壊を招く旧教育とは、お互いが2人称関係に陥り、新教育とは、3人称関係を結んでいくことかなと思っている。今、詳しく展開できないが。

図書館が、教材の宝庫と書いたが、今後TOSSランドもそうなると思う。

7・18

今日は、対面方式で席替をした。やる前にだめだったら先生が決めると言ったからかそんなに文句は出なかった。2学期そうそう座席で、もめなくなかったので今やっておいた。

Y子(以前から書いている特別支援学級選択余地の子)は、今、全然言うことを聞かない。叱ったらもうダメで何も受けつけなくなる。そういうことを何回か経験してわかっている(本当はいけないことだと知りつつ、この体制では)、好きなことをやらせている。Tもそうだ。この2人は、学校独自の学力テストで国語、算数とも1であった。こういう場合、学校に来るだけで良しでいいのか疑問になるが。

3年の時のように4人が1班で少人数にして8班にした。1学期終わりまで、神谷さんが話したように学級経営の安定のために細かい所にまで気を配っていきたいと思う。

放課後の教室で子どもが帰った座席を見つめながら今日1日どんな会話をしたか振り返る余裕を持ちたい。やさしく接し、ほめる所を見つけ、大きくほめてあげたい。憎たらしいと思っている子でも、かわいく見えるように見方を変えていきたい。適宜な指示を瞬時に出せるように自分を鍛えていきたい。そのためには…。

7・19

夏休みの動向表を書くのに時間が、かかり、すっかり遅くなった。明日は、3年生の全校研だ。研究テーマは、国語科におけるコミュニケーションだが、これは、グレイゾーンの子にとっては、苦手ではないだろうか？

道案内をするという設定だが、果たして？

今日も、例会でいろいろ学びました。

7・20

今日、総合3時間あって地域の学習をした。しかし「なんという無意味な時間」だと思う。5時間目全校研。国語科におけるコミュニケーション。だが、その後の会議も「なんという無意味な時間」夜、飲み会。

今、齋藤孝の「会議革命」(PHP文庫)を読んでいる。今日の会議もそうだが、会議自体を考えていかねばならないと切実に思う。

7・21

T君のことを考えてみた。

・よく口笛を吹く。→リコーダーを吹けないので口笛で参加しているのか？ しかしそれ以外でもよく吹いている。もしかして口唇期なのか？

・声がでかい。→声の大きさと他を圧倒することもある。声の威嚇は、R君も同じ。

・他者攻撃、個人攻撃をする。→自己防衛のためか。味方にはやらない。

・日本ハムの選手のまねや応援歌をでかい声で歌う。→彼の表現なのか？

・調子がよく、自分に都合がいいように話す。

・しかし仲のいい子や低学年、ケガをした子には、なぜか面倒見がいい。

- ・言葉遣いは、これが小学生なのかと耳を疑うほど悪い。聞いていると言葉は悪いが、ヤクザか、ごろつきの言葉である。

- ・子どものクレーマーかと思うほど、自分のやりたいことを要望し、それが無理だとわかるとしつこく、うるさくだだをこね始める。

- ・授業中、立ち歩くことは、ないが、あきてくるとおしゃべりなどの授業妨害を始める。

余談だが、休日1日目は、まだ彼の歌声やでかい声が聞こえてくるようでダメ。2日目ぐらいでようやくおさまる。

- ・見ていると反抗する先生と反抗しない先生がいる。強制的に何かする先生が苦手なのだ。どちらかというとな女の先生（若くて、やさしい）には、反抗しない。

- ・彼には、二人の姉（中2、小5）がいる。昨年、姉のクラス（4年）で学級崩壊が起こり、その先生は、休職。その先生が話していたことには、Tが一番悪いということだった。（その先生も結構決めつけていた所があったみたいだ。）Tは、そういう姉のことを見ているということ。

- ・Tの夢は、プロ野球の選手で、一生懸命練習はしている。

- ・給食は偏食がはなはだしい。好き嫌いがあるということ。あの食べ方で持つのかと思うほど。しかし4時間目には決まって「おなかすいた！」が始まる。→この言葉は、単に勉強嫌だという言葉なのだ。

- ・体育と休み時間が生き甲斐。後は、好きなことは、図書館で本読み。しかし、それも最後は飽きて遊んでいる。

- ・Tのクラス内の影響力は大きい。反発している子は、無言の反発。しかし彼に言われたら従っている。それを見て私が阻止している状況。

私と似ているところもある。

私もどちらかという、やや反抗的な所はある。やはり小さい時に父親を亡くし、2つ上の姉もいる。姉には頭が上がらなかった。

磁石の同じ極が反発するならば、私が違う極になればいいのか。あるいは、似たものどうしは、治していくのか。

やはり、他の子の力や他の先生方、親の力を借りなければならない。と思っている。「困った子」は、「困っている子」、「ワーキング トゥゲザー」、親が一番困っている、今の時代どの先生にもぶちあたる問題、ということを北大の先生から教えてもらった。

7・22

今日は、午前中1時間学校、4年生の先生3人とも来ていた。実は、金曜の飲み会で2組の先生とも話が盛り上がり（全然別のことで）少し仲良くなった。

昨日、今日と用事をキャンセルして今、やることに集中した。といっても片付けなのだが。4月からのT O S Sの学習を振り返ってみて、何点か質問が出てきたので書いてみる。

- ①スマートボードでの教材化は、パワーポイントで作っているのでしょうか？
- ②模擬授業や検定でも指導案は、プリントで示されているような形なのですか？ 指示1とか説明1とか発問1とか□に囲んで書くような。
- ③今、学校現場に席卷しているようなフローチャート式ではないですが、学校現場ではT O S Sの指導案は、どうされていますか？
- ④最初は、E表、D表からなのですか？教えてください。

明日は、成人病検査でLプラザへ。多分、なんかひっかかると思う。

7・23

今日、成人病検査の待ち合い室で神谷先生とS先生のプリントをずっと読んでいた。森有正の文庫と。

教室に戻ってきて昼休み当番の時ちょうどTのいる班だった。またぐだぐだ言ってきたのでミラーリングをしてみたら、なんと受けてしまった。これは、効果ありそうな気がした。使えます。

子どもに対するいろいろな技とほめ方を改めて知ることができました。
なんせ昔から遅れてきた～だから。

あかねこの漢字や計算スキルも私の子どもたちが小学生の時、使っていたら...、でもその頃はまだ開発されてなかったか。

旧教育とは、ほめない教育だと思う。私自身がどっぷり浸かっていたのでよくわかる。新教育は、ほめる教育。すると私は今、コペルニクスの転換をしているのか。昨年から体重が

7キロ減っていた。逆に身長は1センチ伸びていた。単に姿勢が悪かっただけ。顔を上げ、フットワーク軽くして生きたい。

また質問ですが、27日金曜日の有田和正先生の第6回教材開発セミナーハウスと TOSS は、関係あるのですか？

7・24 今日で総合のグループ見学が終わった。見学終わったグループは、2時間もまとめをしなければならないが、そこまで集中できない。材料だけをてきぱき渡して指導はできない状況。

今日は、1学期で転校する子が二人いるし、体育をプールの他にやっていなかったのもで体育係による体育集会をした。チームは、くじびきとしてリレー、ドッジボール、王様ドッジ、けいどろをした。まあまあか。(70パーセント主義で)

今、例のやんちゃな子で指をパチンパチン鳴らすのがはやっている。野球やっているのも指を太くしたいという。何かに凝る。前は、練りケシだった。どいういうわけだろう？いつまでもやめないのも、つい言葉がきつくなる。反省。

今日で1か月、こうやって書くことができ、意見をもらい、私自身本当に助かりました。明日、終業式。無事1学期終われそうです。感謝。

7・25

1学期が無事終わった。帰って来て一人飲んでい。酔いたかったせいもある。

教師人生を考える。皆さんは、50代教師にどのようなイメージを持っていますか？ 私が新卒のころ尊敬していた50代の教師に今、なりきれてはいません。教員としての「プライド」は、ずたずたにされましたが、おかげで開きなおることは、できました、

クローズアップ現代を見る。95才の新藤兼人監督(映画監督)が25才のようにと言っていた。わたしも高校3年間と2年間、大学4年間が原点だ。向山洋一氏にひかれる理由。

- ・同じように高校、大学時代を原点にしている。
- ・教育実践家なところ。

何故にこうなったか後もどりできぬ個性のかたまり

以前、我が身のことをこう詠んだ。

今、心配していることは、2学期そうそう教育実習生を2週間もつこと。今度、学校に来た時、学級の実態を話さなければならない。

7・26

午前中、学校へ。1学期の時数計算をする。総合や理科の校外学習の書類をまとめ、健康

簿整理して記入するところでやめた。途中、養護園の T 先生が、「今度、4 年生にたいへんな子が入るから。」と言って職員室に入ってきた。転校生もあり人数の 1 番少ない組は、私のところだ。あ〜あ

また、神様は、新たな試練を用意してくれたのか。温室の水やり。

昼は、自転車で街へ。夜、ダイソーで観葉植物を 6 つ買う。(アイビーとかポトスとかコーヒの木など) 2 学期、ヘチマ、ゴーヤ、ワタの木の後に置くやつ。ピアノのハノンで指の練習をする。痛めた小指がようやく動くようになってきた。

阪神、中日戦を見ながら各種体操。腹筋 30 回。ストレッチなど。阪神が 3 連勝だ！

7・27

今日は、道立文学館へ「太宰治展」を見に行った。高校 3 年の時の現代国語に「富岳百景」があったことを思い出した。

当時は、それから太宰の人間失格、斜陽、晩年など読みあさった。以前、家族旅行で青森、弘前に車で行った時、なんで金木町（生家）に寄ってこなかったのだろうと思った。文学館の太宰の文章を読んで、彼の弱さが、自分に通じるものがあったことを発見した。それは、議論できないという弱さ。それをこれから克服していかなければならない。

教務と実習生の打ち合わせに合わせて学校へ。その後、実習生と話をする。ちょっと驚いていた。そうだろうなと思う。

昨日読んだ小西聖子(精神科医)さんの文章を自戒のために書いておく。

「人の話を聞いて、圧倒されフラフラにならないためには何が必要かという、安定した自己の感覚、クライアントの感情に対して私自身を保ってられる力、そして自分の不安を受容する力、人と繋がる感覚、それから自分の価値を認められること。

事件に遭った被害者に話を聴くと、やっぱりガーンとやられます。でもやられなかったら、今度は共感するということがほとんどできなくなります。。ここが心理療法の難しいところです。ある意味では困難な臨床というのは、私にとっても力になるのです。」

夜、ベランダで花火を見る、花火は芸術だと思う。今年も見れた。

子どもらが小さい時行った花火大会今日は一人見ているこのロケーション
飲みながら作ったので大幅な字余りでした。

7・28

今日は、開放プールの当番で学校へ。ぎりぎりの温度でやることにした。子どもたちは、結構来ていた。2 学期に向けて少しずつ取り組んでいこうと思った。隊伍を整えたい。

岸田典大さんのライブを私も見たことがあります。ちょっとマネはできないと思いました。

私の友人、いいだともきさんが、8月4日（土）午前11時より、アフリカンドラムの演奏と絵本「アフリカの音」などの読み聞かせをします。小さい子にもびったりです。道立文学館（中島公園内、ライフオート越して右側）。入場無料です。

私は、数年前、これを聴いてジュンベ、さらに考現学、らくだプリント、平井雷太、ホメオパシーにはまりました。

7・29

昨日、今日と家に一人でいる時間が多く読書に励みゆったりすごしている。

つれあいは、声のワークショップに行ったり、娘を連れて何やら人形劇を見に行っている。（つれあいは、ある人形劇団を主宰している）

先日、実習生との話の後、校長に呼び止められて来年の人事異動について聞かれた。私は、ここに来て5年になるので希望をしている。のだが、むずかしいらしい。

5年前、ここに来るとき、①ピアノを練習すること、②歩いて通うことを目当てにした。それまでやってきた役職（キャリア）は、一切なくなり、それでは、「たそがれ清兵衛」になろうと決めたものだった。

以来、まるで若者の「自分探し」のようにいろいろなことに挑戦してきた。

腹話術、マジック、合唱、いろいろな楽器、ボランティアもやって、「やまびこ座」や「こぐま座」のステージにも上がった。いろいろな場所、いろいろな人とも知り合った。今の自分にそれが血肉化されているかは、わからないが、そろそろ「自分探し」も終わりかなと思いはじめている。

以前、50代教師についてここに書いた。今思うことは、早く老成（聖人化）しなくてもよいということ。前、サークルでK先生が、「もう少し、先生が、やんちゃになっていいのでは。」と言っていたが、そう思う。若い頃は口角泡を飛ばして議論していたではないか！そのためにも今という時間を理論武装のためにじっくり使いたいと思う。

7・30

8月12日に母の13回忌をライフオートで行なうために今日はいろいろな手配（電話かけ）をした。その他一気に7件以上の用事をこなした。

ビリーザ、ブートキャンプのDVDが家にあったので見た。これをやったら大変だと思った。

夜、岡本綺堂という人の「異妖編」という本を読んだ。（ネットの「青空文庫」からおとしたやつ）8月4日「夏の夜の夢がたり」で松本直人（ヨミガタリスト）さんが読む本。

19時から。場所、フリースペースカフェ「AMICA」（アミカ）
琴似2条3丁目共栄ビル4階、飲み物、おつまみ付きで1500円。

なんでこんなこと知っているかというと、つれあいが、プロデュースしてるからです。松本さんは、確かに声はいい。

7・31

今日で7月は終わりだ。午前中、胃カメラ検査で病院へ。成人病検診では、バリウムを飲まないで毎年、胃カメラにしている。もう5年、この時期恒例となっている。

幸い慢性胃炎で進んではないということではあった。なんせ今年1月からのストレスでやばいかなと思っていた。

胃カメラも、のどに麻酔をかけ（飲み薬）、点滴をしてほとんど眠っている間に行うもので痛みはなし。なんせ痛みに敏感なたちなのでこうしている。

昼から環境サポートセンターへ。北極の写真展を見る。

夕方、姉が法事の件で相談にくる。

8／1

今日は、北大総合博物館へ「ファール展」を見に行った。1823年生まれ。最初は、小学校教員だった。それが中学、師範学校の教員になっていった。しかし45才の時、当時、若い女学生に植物の受粉について教えたという理由で首になった。約140年前（日本では明治になったころ）フランスでの話。その後研究を続け56才で「昆虫記1」を出す。91才まで。見直したなあ。

午後、北海教材社に電話して「あかねこシリーズ」を注文する。

小指のリハビリで整形外科へ。やっぱり違う。治りがはやそう。

メールの設定をウインドウズに変えた。波多野先生に紹介してもらったブログを作った。

8／2

午前中、円山動物園に行った。1年間有効のパスポートを買った。昆虫館のみ見学。なんせ最近、昆虫にはまっている。旭山と違ってすいているのがいい。とてもくつろげる場所を発見した。何回もくることができる。

午後は、楽器の練習。今まで集めた楽器は、はんばではない。次から次へと練習した。それでもまだある。弾けないと意味はないから。

明け方、久しぶりに母の夢を見た。法事が近いせいなのか。病気にかかる前のまだ若い母だった。私が、札幌から帰ってくるところから始まるのだが、なぜかピアノの先生が出てきた。最近さぼっているからなのだろうか。

そのまま起きて梨木香歩の「家守綺譚」を読む。読了。その勢いで「ゲド戦記外伝」を読む。休み中に読み終わりたい。

8／3

今日は、9件の用事をした。久しぶりにゲオに行ったら見たいDVDがたくさんあった。CD、5枚借りてきた。すべてフォークソング。車の中で聴くためコピーした。

図書館から借りているDVD「日本の姿」秩父の通過儀礼1を見た。ライフオートで打ち

合わせ。「冠婚葬祭」をもう少し学ばなければ...

8 / 4

今日は、文学館で飯田さんのジンベを久しぶりに聴いた。人数が多かったせいか迫力があつた。踊りの方は、さそわれたけど遠慮した。

午後から教文へ演劇フェスティバルへ行って、いろいろな劇づくりのデモンストレーションを見てきた。

H先生が聞いた言葉から以前にも書いたが森有正の言葉を思い出した。

題は「エキリーブルを与える人—ほんとうの教育者はと問われて—」という文章で、もう一度読み直してみた。こういう一文があつた。

「私は理想的な教師は、勇気のある教師のことだと思っている。また生徒の中に勇気を涵養する能力のある教師だと思っている。」

夜、ブログをアップした。

http://blog.goo.ne.jp/itutunoakaihuusenn_2007/

8 / 5

今日は、うさぎ当番（エサやり）で学校へ。

その後、開拓の村、開拓記念館見学。開拓の村は、今日までゆかたを着て入れば無料になるので持っていった。子どもと盆踊り以来、ゆかたを着た。9月に現地学習があるので下見もかねて歩いた。新聞にも出ていたが、ボランティアによる劇も見た。ゆかたとても気に入った。

記念館は、ミュージアムメイトになっているので自由に入れる。鯨の特別展見る。

演劇は、やらないけど見るのは、大好き。新卒の学校では、演劇鑑賞会に入っている先生方でサークルを作って観ていたほど。子どもが小さい時は、子ども劇場に入っていた。今、子どもたちは、やめて、私一人で観に行く。クラスの子が二人いる。

後自分のことは、本当は「ポストフォークソング世代」だと思っている。フォークギターも

遅ればせに大学の時に買って、今でもそれを弾いている。

S先生が以前、国歌のこと書いていましたが、例えば、五つの赤い風船の「遠い世界に」（これは、以前中学の教科書にありました）とか「まぼろしの翼とともに」が、国歌だった

らどんなにいいだろうと思う。この二つはちゃんと国のことを歌っているのだから。

靖国も私も以前1度行ってきたことがあります。千鳥ヶ淵（無名戦没者記念碑）といっしょに。実は8月15日に限り、札幌の護国神社の地下を見学することができます。ミニミニ靖国です。

明け方目が覚めたらジンマシンみたくなっていた。すぐホメオパシーのレメディ（薬みたいなもの）を飲む。次、目がさめたら何もなかった。毒を持って毒を制すると言う考え方らしい。イギリスで作られ英国王室でも利用しているという。歯痛にきくのもあります。

8／6

今日は、脳ドッグに行った。6年ぶり。あのガンガンという音には参った。ずっと目をつぶっていた。自分の頸動脈、脳の血管、脳をパソコンで見た。どうやら異常はないらしい。

北大の先生との話し合いを箇条書きにまとめてみた。

北大M先生との話し合いから1（07年2月～7月）

- ①K先生1人のせいではない。
- ②どの教師も悩んでいる。100人中100人出会うことがら。
- ③T君、環境にめぐまれない一人。
- ④教職員の同僚性がない。
- ⑤T君の言動、行動は、個人的な要求。「子どもの問題行動は、発達要求ととらえる。」
- ⑥ウィニコット「子どもの苦悶、問題行動のようなもの、認められない行動は、子どもの苦悶、苦悩の表現である。」
- ⑦つっぱった状態をどうほぐしていくか？ 例えば「大丈夫かお前。」
- ⑧K先生＝スーパーエゴ、超自我。自分にきびしい人は、他人にもきびしい。
- ⑨ほめる。子どもの声を聞く。子どもの表現の声を聞く。

⑩Distress＝ 苦悶、苦悩、苦しみ

⑪親が1番困っている。親をねぎらうこと。「こういういい所がありますよ。」

⑫教師のうつが多いのは、朝早いからなのか。生理的基礎としての睡眠。

⑬虐待と軽度発達障害は、二大問題。

⑭母親こそ困っている、悩んでいる。Tこそ悩んでいる。

⑮Working together＝ワーキングトゥゲザー＝一緒に

⑯5人をサポートしよう。「You are ok.」「～よし」 学力形成。

⑰神様が、T君を派遣してくれた。

⑱Complex＝複合心理―無意識の中に潜むもの。KやTが発する自分に寄せてくる何かが感情に障害される。

⑲たわいのないこと。K先生の人格そのものに向かって言っていない。なんと言っているのだろう。例えばハンゲル語で言っていると思えば。

⑳2007年における「うざい」「きもい」の本当の意味は、わかっていない。

8／7

午前中、学校で仕事＝かたづけをした。昼から「かかしの旅」の映画をみてきた。うーん、家出をしてあんないい友だちには、なかなかめぐりあわないけど... 子どもの心情は、よくとらえていた。ストーリーもおもしろかった。

昨日の続きを書いた。

21 崩壊学級の文化（カルチャー）例えば攻撃性は、共通の問題。

22 怒りを収まりきれなかった。やりとりが形式的にしかならなかった。キャッチボールにならなかった。別の球を返してみる。

- 23 個別指導の場面では、気をつける。別室指導で恐ろしいのは、仲間から浮くこと。
- 24 先生個人としてパーソナリティチェンジ、自分の実践をプレゼントする。
- 25 ボン・コンシャス（仏） 意識＝良心
- 26 スーパーバイズしてもらおう。同僚者で。上から。
- 27 性と暴力は、人類普遍の課題。
- 28 T は、何を訴えているのか。読み解く。
- 29 4，5 歳児。エディプスコンプレックス。父をどうとらえるのか。出生の秘密。
- 30 家庭の問題を軽い発達障害は、なぜ出すのか。
- 31 養護園は、安心感がある。仲間内。
- 32 T は、何を言えば傷つくことを知っている。自己愛、演技性自己愛—人格障害（パーソナリティ ディスオーダー）
- 33 神経質（こだわり）。「この世は自分しかいない。」→自分に敏感。
感受性が強い。→他人に敏感。
- 34 笛やプリントやらなくても怒る意味はない。1 年ぐらいの作戦で、父母のやらなかったことをやる。
- 35 まわりに、「T をどうやって支えたらいいと思う？」「T は、自分で自分が困っている。」と問う。
- 36 かき回す行動＝パーソナリティ、演技性。
- 37 「よく先生の急所をつかんでくれた。」T は、ほめることをしていない。だからほめる。
- 38 同僚性の構築＝学校づくり 親も苦しむ＝子も苦しむ
- 39 気になることの列挙でなく共有できる所はないのか。

- 40 Y子が舌をぺろぺろするのは、口唇期の証拠。母親の愛情。
- 41 義務教育＝共存共栄、学習ボランティア
- 42 親との関係のこじれ→関係性のこじれ
- 43 小学校の学級づくり→居場所がある、仲間がいる。集団づくり。
- 44 教室の問題が大きい。学校＝本丸。学校でなった以上、学校でしつけていく。
トイレトレーニング。
- 45 なぜ机をバーンとやるのだろう。それぞれの理由。向こうの側で考えるように。
- 46 対話のうまさ→人格を大事にしながら子どもの側に言いたいことを言わせている。
- 47 T＝キーパーソン。Tを別の場面でいかにほめるか。学級の中でほめる。
- 48 問題行動を電話すると親はつらい。親をエンパワーする。「こんないいことやっていきますよ。」2ついいこと言って1つ悪いこと言う。
- 49 子どもの成長を共に支えていく。共同して支えていこう。
- 50 親が不信感→1年間の見通しの中で教師の態度を見せる。新しい自分＝親と共に生きる。
- 51 明るく、積極的に！
- 52 1時間の細かな作業や指示は、ほめる場面がふえる。
- 53 教師がおしゃれで魅力的になる。
- 54 習熟度別でなく「向こうの国語」「こっちの国語」のような言い方。
- 55 暴力は、言葉によって自己抑制され、他者との関わりで昇華される。
- 56 インクルージョン→子どもの権利、発達保障という点で同じ課題を持つ。

ゆるやかな発達段階論→学習集団、生活集団においてかかえている課題が違う。
ゆるやかに考えてもよいのではないか。

結論

- ① 「学級崩壊」ではなく、5人の特別に支援の必要な子どもがいるクラス。
- ② その5人は、それぞれの特徴を持ってる。
- ③ 教師は、反抗に弱い。うたれ弱い。→もっと強く、もっと強く！
- ④ 子どもに対してカッとしなない。同じ土俵にのらないこと。
- ⑤ 教育実践＝授業をつくる。
- ⑥ 学級運営を円滑にしていくこと。

8／8

昨日の映画の補足。齋藤先生も行っていたのですね。感想読みました。細部に渡って言うとその通りだと思います。

①家出が自分探しの旅で、それが今までと違う仲間を見つけることによりうまくできたというハッピーなストーリーを（単純に）うまくできてよかったねと思いました。ただ家出は、そんなうまくいくものではない。この映画の素人性を単純におもしろいと思ったしだいです。

（うまくいかなかったのが、重松清の「疾走」）

②いじめの心情が語られる部分は、よく理解していると思った。（脚本が）そういう環境を経験した人にしかわからないこともある。ただクラスからそういうのは、やめようとかいう意見がなかったのは、寂しいかぎり。いじめをテーマにしているのなら解決は、そこにしかないのに。でもこれをいれるとあの時間では終われない。そこが我々からみると不満ですね。

話変わって

—教師は、なぜうたれ弱い—

もちろん一般化できないが、これが今年はじめより考えていることがらです。私自身のこ

となのですが、共通する部分もあると思うので。

①教師の仕事からくる共通な資質の問題。

6月にD i S C（業績マネジメントにおけるコーチングの効果性を向上させる）の講演を聞いた。その簡単なテストで、「この人物の目標」では「安全、安定、正確性、秩序」だった。また「この人物の抱く恐れ」では「急な変化、安全を守れない状況」「自分の仕事を批判されること、根拠となる基準を失うこと」だった。教師の仕事の根底につながるものがある。

②教師の育成過程の問題

これも一般化できないが、どちらかというと教員になっている方は、挫折からはい上がるという経験が少ないのではないか。（今の自分のことを含めて）ということ。

どうしたらうたれ強くなるか？

①ネバーギブアップ

②居直る（？）

③議論に慣れ、勝つ。

④問題に正面から立ち向かう。

⑤行動、生活の改善

⑥アンテナを高く張り巡らせる（？）

護国神社のこと

北海道には、3ヶ所護国神社がある。札幌、旭川、函館です。私が旭川に住んでいたころ母方の祖父母が毎年夏休みに芦別からお参りにやって来た。長男（つまり私の叔父）がフィリピンで戦死したから。また父方の叔父も訓練中に亡くなっている。そんなことや社会科の授業をつくる時に見学に行きました。15日は、12時から集会があるので3時か夕方には静かになります。地下だけではなく周りにも戦争記念がたくさんあります。車で事務所まで行って事情を話すと（教員で研究していると）快く見せてくれます。私は、記念誌もいただいて、それを読むと、山鼻の屯田兵が西南戦争へ明治維新の仇だと言って鹿児島まで行き、実際に亡くなった屯田兵もいたことがわかります。それを今度調べにいくと永峰先生（元校長）が先日の新聞に出ていました。

8／9

夏にしては、変な天気が続いている。そのすき間をぬって海に行った。海を見ながらぼーっとしているのは、いい。波の打ち寄せるのを見ながら月の引力を感じるのもいい。

二人称、三人称のことを書こうとして森有正の本を読み直したが、ちょっと無理なことがわかった。(ここに何回も出てくるが、簡単に言うと初代文部大臣、森有礼の孫、フランス文学者、1911～1977) ちくま学芸文庫からエッセイ集が出ている。

二人称関係は、上下関係の世界。一、三人称の関係は、理性関係。二人称関係の世界から一、三人称関係の世界に入ると、その人に変貌が起こる。と言う。

「親と成人した子が真に個人として成立するならば、そこには分離と無関心が本質的事態としてはある筈である。」と書いてある。

隣にいる20才の息子を見ながら、考えてみる。

読書って本当に人によって違うのですね。S先生が紹介していた本、実は、どれも読んでいませんでした。時間があれば読んでみたいが...

今日、温室の草取りをした。ヘチマ、ひょうたんは、どうやら「うどんこ病」か？

葉っぱが、白くなり虫がついていた。薬をかけてきたが、多分、最初に土に肥料を入れなかったせいだと思う。(毎年植えるので土が弱っていた)

8 / 10

今日は、忙しかった。午前中、滝野へ両親の墓参り。午後から手稲。T O S S 石狩サークルの拡大学習会。場所を間違えたのでかなり歩いた。(区民センターと思っていた) H先生、N先生が来ていた。B先生解説の向山型算数の心髄が少しわかった。

帰りがけに姪(小学校教員)がオペラに出るといっているので教育文化会館へ。疲れた～

8 / 11

T O S S 石狩教育サークルの印象は、若い方(学生も)が多いということです。F表、E表ライセンスもありました。特別支援学会の報告は以前、N先生がサークルで報告していたプリントでした。が、本人(T先生、S本先生)のお話や模擬授業は、真に迫っていて、ドキドキしました。B先生の「逐一指導からの脱却 向山型算数の基礎・基本」は、教科書を見本に説明してくれたのでわかりやすかった。学級経営の話も6人の子どもたち相手に具体的だった。後1週間、何をしておかねばならないのか展望が見えた学びでした。

明け方、ここ10年やり直したができたらという意識におそわれた。午前中考現学ネットの方が教師の生活について質問に来た。昼食を家族3人でキタラのレストランで食べた。しかし会話は少ない。

8 / 1 2

今日は、母の13回忌でライフオーに行ってきた。冠婚葬祭の本を読んだり、挨拶を考えたり、親戚が集まるので結構気を遣った。

久しぶりに親戚が集まったのでちょっと飲み過ぎた。終わって正直ほっとして疲れた。

T O S S 推薦の子ども冠婚葬祭の本も読んだが知らないことも多く勉強になった。

今度HPに挑戦したいのでH先生、いろいろ教えてください。

8 / 1 3

今日は暑かった。クーラー、扇風機はふる回転。まだ本州からみるといいのか。息子は、9時から17時までアルバイト。私より働いている。

たまっている教育雑誌を次から次へ読んだ。

8 / 1 4

今日から3日間、夏休をとった。まずゲオに行って「ゲド戦記」を借りて見た。まあまあおもしろかった。宮崎駿と息子吾朗(?)の確執が映画にも表れているのかな?

気になったいた浴室とトイレの大掃除。きれいになった。ベランダで小1時間日光浴。DVD返す時、温室へ水やり。かなり干上がっていた。職員室の机の上に東京教育技術研究所から頼んでいた「あかねこ」とかが来ていた。やっぱりこっちの方が速い。

明日は、何をしようかな。

8 / 1 5

夏休2日目。暑い。フェアトレードの店「これからや」へ買い物へ行った。

午後、授業案の原版だけ作った。夕方、自転車で駅前の環境サポートセンター、紀伊国屋、Lプラザまで。

新たにブログをつくりました。まだ途中ですが、公開しています。時間がある時、寄って見てください。

<http://blog.goo.ne.jp/tooisekaini/>

http://blog.goo.ne.jp/maborosinotubasa_2007

8 / 1 6

夏休も今日で終わり。今日は映画「夕風の街・桜の国」を見に行こうと行っただが、超満員でやめた。

帰ってきて、また積み残してあった教育雑誌を読んだ。

後3日間、やることをチェックした。

今日は、涼しかった。夏はもう終わりか

8 / 17

午前中、年休をとる。今日はT O S S系の雑誌含めて7冊定期購読の本を購入。本棚を見ながら昨年からは考えられないこと。私自身の変

こんか。もう自分の直感を信じるしかない。

午後から学校へ。ひと仕事する。例の転入生は、やはり私のクラスだ。これもさっさと決断するしかない。

恐怖は、あれこれ考える自分の頭の中にあるということ。「明日は明日の風がふく」というかまえも大切なのだろう。

今日は、妻の〇〇才の誕生日だった。が、すっかり忘れていた。夕食の時言われてハッとしました。

さだまさしの「関白宣言」を聴かせて、10年後、どうなったか予想させ、「関白失脚」を聴かせるという中学校の音楽の実践を雑誌で読んだ。笑えた。単元は、短調の学習ということだった。

8 / 18

今日は、午前中、K小へ行った。H生の教室を見て、なんでもそろっていることに驚いた。機材を運んで、線をつけて...こういうことをしないでいい。

その後、向山型国語の例会に参加。千葉先生の解説、とても勉強になりました。また参加したいと思った。

午後から友人、来訪。リッチテキストコンバーターをインストールしてもらう。

学校の仕事3つかたづけた。後3つだ。

8 / 19

明日に向けての仕事は終わった。後は、授業、教材研究だ。

心はだいぶん落ち着いている。

娘の高校も明日から。今、宿題をやっている。私もこれから化学を手伝わねばならない。

8 / 20

実習生が来た。1日のコメントを次のように書いた。

「8 / 20

今日は、1日ご苦労様でした。緊張し疲れたことと思います。「教育実習への決意・抱負」を読ませていただきました。誠実な態度で子どもたちに接しようという気持ちが伝わってきました。少々にぎやかなクラスですが、2週間という短い間、学校現場からたくさん学んでいってください。どんな小さなことでもわからないことがあったら聞いてください。

まず顔と名前を覚えることです。」

S先生、私もH先生から教えてもらったGOOブログでつくりました。なんせワープロにっぱい入っていたのです。で、リッチテキストでまた取りだそうと思ったしだいです。

ヘチマとかひょうたん、なりそうですか？そうそう化学のモル計算はお手上げでした。

8 / 21

実習生の日誌より。向山氏の受け売りが入っていますね。

8 / 21

指示する時は、一時に一事の指示をすることです。一度に二つも三つもすると子どもは混乱します。細分化した指示、発問を用意して、できた時は、ほめる＝励ますことです。それは、まだできていない子に対してその気にさせたりする働きもあります。どういう言葉を使うかは、今日渡した紙に何通りか書いておくとよいでしょう。クラスの実態がだいたいわかったと思います。まずその子をまるごと受けとめる。それから学校のルールを教えていく。学力をつけていくことですが、なかなかむずかしいのが現実です。

8 / 22

例会への参加やT O S Sの授業がたいへん役だっています。今日から毎日、二人で模擬授業です。

明日、急遽サッカーの職体にかりだされることになり例会参加もあやぶられます。

8 / 22

子どもたちもだんだん慣れてきたと思います。授業をすともっと慣れるでしょう。学年集会は3年の時からの積み上げもあって休み明けでもすぐできました。子どもは、一人一人、どの場面で生き生きするのか見極めるのが大切です。そしてその場を保障することで学校に来るのが楽しくなります。一番長い授業が楽しく（学力形成含めて）あればそれにこしたことはありません。その為にも私たちは、毎日教材を研究しているのです。

8 / 2 3

結局、家についたのが7時過ぎで疲れ果てていたのでサークルは断念しました。H先生はタクシーまでとばして行ったのに...

ところでS先生はお元気なんでしょうか？最近音沙汰ありませんが。

8 / 2 3

今日のご苦労様でした。まずは第1歩です。ともあれ模擬授業の成果があったのは事実で、ああいう練習が苦にならないようにしていくことが大切です。自分の発する言葉の一つ一つの吟味が必要でそれがないと言った後、不安になり何回も言い直してしまい、結局子どもを混乱させてしまうことがよくあります。今のクラスでは特別に支援しなければならない子は少なくとも数人います。そういう子どもたちや上位の子どもたちも視野に入れた毎日の授業づくりは、とてもむずかしものなのです。

8 / 2 4

今日は、もう一つの考現学ネットの文章を転載しました。

文中のMさんは、今年の2月に夫を交通事故で亡くし、3月に小学校教員をやめました。
(札幌ではありません)

今、教育大学大学院で臨床心理を学んでいます。

2007.8.24

長い1週間が終わった。この残暑には、ほんとうにまいってしまう。

Mさんの考現学を読んで若干の補足をしておきます。

①本当は、職場の悩みを解決する力は、その学校の職員集団にあるものです。今から20年前には、まだありました。しかし構成員にもよりますが、今の札幌の80パーセントの職場では、その力はありません。だから助けを他に求めるのは、事実です。でも職場に一人でも相談できる人や愚痴をこぼせる人がいると楽です。それは、どこの職場にも一人はいると思っています。

②休職＝退職という図式にはなっていません。最終的に休職という手段があるということは、困難をかかえても楽になります。でも1度休職するとそれに慣れてしまうということはありません。それで、もうつらい思いはしたくないとなって退職ということはありません。

③毎日の疲労は、土、日でとる。あるいは、長期休業日でとるというかたちで休養しています。

今、以前に考現学に加藤登喜子と藤本敏夫のTVでの話を書きました。レンタルで石原裕次郎の「わが人生に悔いなし」をあきるまで聴いています。Mさんの場合は突然でした。加藤さんの場合は、ガンと知ってからの二人の時間がありました。その違いを感じます。

Mさんが来た時、「まぼろし」というフランス映画を紹介しました。今もうひとつ「ゴースト、ニューヨークのまぼろし」をお薦めします。

この1年間、喪失感は、はなはだしいと思います。自分もそうですが、目の前の困難にぶつかって進んでいきたいと思っています。

8 / 25

今日は昼から、「社会的養護を必要とする子どもたちの為のネットワーク作り」の総会で児童相談所の所長の講演を聞いてきた。

また北大のM先生もいた。M先生は、内村鑑三の「後世に何を残すか」の著書を取りあげ「いさましい高尚なる生涯」とは何か？を問っていた。つまり、絶望して生きるのではなく、人生に明るい目を持ち、子ども、社会に明るい目、すなわち希望を見いだすこと。を主張していた。

そしてサイドの言葉、「21世紀は、血縁関係から非血縁関係に移行する」を紹介した。

後世に何を残すか？ 大事なことだと思った。

8 / 26

今日1日ずっと教材研究していた。疲れた。

金曜日の夜から土曜日までが休養。日曜から始まっているようなものだなあ。

実習生を担当すること安請け合いしたことをちょっと後悔している。まあ勉強だ！

8 / 24

学級経営や授業においてトラブルや混乱はつきものです。そういう場合でも教師は、あわてず冷静になることが大切です。授業における混乱は、次の指示、発問で修正できますが、そこは的確な指示、発問が要求されます。また、つまりく箇所を予測しておくことも大切です。リズムとテンポよく、笑顔を忘れずに授業することです。学級のトラブルもいろいろな解決方法があります。どのような場合であれ、双方の子どもたちの意見を聞いてから教師が判断することです。

8 / 27

いよいよ今週で終わりですね。今日の5校時のように何か一つこれは、というものを教師

が持っているといいでしょう。表情も子どもとの対応の仕方も自信があり、今までと違っていました。そういう場面を増やしていくことです。今朝の1時間目でわかったと思います。子どもたちは、自尊感情が少ないです。だから、こちらの発問、指示に対して出来たら（反応したら）、できるだけほめる＝励ますことがとても大切なのです。そうすると気持ちがよくなって学習に集中してきます。

彼女は、中学校英語教育専攻で5時間目に総合で英語を授業しました。ウー...「わたしまけましたわ」でした....

8 / 28

大切なことは、一人一人の子どもをいかに授業に参加＝活動させるかで、この視点がないと、教師主導になったりします。そうならないためには、常に子どもの視点で考え、どこでつまづくか予想し、子どもを変えようとするのではなく、こちら側が変わっていくようにすることです。大人である教師は、そのことは、結構むずかしいです。準備に完璧はありませんが、この視点を持っていると、たとえ準備不足でも子どもに正対して向き合えると思います。

8 / 30

ともあれお疲れさまでした。グループ活動、発表は、むずかしかったですね。（内容でなく、こまごまとしたこと含めて）なんとか無事に終わってほっとしています。最後のまとめで教師の話が多くても今の段階では仕方ありません。子どもたちとお別れは、寂しいかもしれませんが、後、半年の大学生活を充実させるという大事な課題があります。その一つに今回の2週間があるかもしれませんね。

ようやく研究授業が終わった。結局、問題解決学習だった。向山氏が言うように、一つの問題を20分にわたってグループで話して、発表するという、ぐだぐだした授業だった。ショックを受けたのは、子どもたちのお別れの手紙に3人も北村先生より楽しかったと書いていた。

そうですね。叱らないでやさしく教えてくれるお姉さん先生の方が、いいのでしょう。気にすることはないだろうが、なんか損な役まわりだったな。と思う。

もう実習生担当は、これで終わり

8 / 31

今日で8月が終わりなんだ。今は、実習担当が終わってほっとしている。これで3人目

なんでもうホントに終わり。

今日最後に30分話して終わった。小学校教師を改めて強く希望したみたいで、嫌にならないでよかった。TOS Sのおかげでできたようなもの。TOS Sの宣伝もしておきました。

朝の子どもたちのリコーダーを聴いただけで
泣きそうになったと言っていた。若い！うらやましい！

自分を見つめる。もう一度授業に対する姿勢を問い返すこと。言葉を削ること。やんちゃ君を見直すこと。

彼女にご苦労さま、ありがとう。

9 / 2

土から日まで1泊で釧路行き。ちょっと前に帰る。

バスの中で持っていったCD. を聴きまくる。石原裕次郎の「我が人生に悔いなし」「引き潮」というのがよかった。この曲は、この前、加藤とき子がTVの中で話していた曲。

9 / 3

教育実習も終わったのでTとの対決を進めていくことにした。まずは、口で打ち勝つこと。

今日も5時間目、授業に身が入らず、口笛を吹き出す。「やめろ、やめない」の問答が続く、授業中に口笛をふくことは、いいことがどうか一人一人に問う。TとR以外は、全員NOだが、今一步の指導だった。どうも教師対Tとか教師対Rの図式になってしまい、他の子を味方につけるには、今一という状況なのだ。

Tの支配が進行していると思われる。「手あげたら殺すぞ」というおどしにも、他の子は、びくびくしている。

教師、他の子対TやRにしたいのだが...

9 / 4

昨日の今日だったせいか、Tはおとなしかった。

ひとついい手がうかんだ。教師対Tの1対1にならないよう、Tに近い友人を利用(?)してTのとっている「問題行動」を止めさせたり、注意させたりするとTも聞くことを発見した。

確かに問題行動を授業中とりあげ、子どもたちに聞いていくと授業が中断され、昨日も「まずい！」と思った。やはり端的にスパッとやらなければならない。

対決は、まだ先にした方がよい。もう少し、味方をつけてからだと思った。

9 / 5

2学期転入してきたSさん。1週間教室に通った後、養護園から3人で夜、逃げだし、現在児童相談所の保護のもとになっている。

TとHは、給食時間は、弱肉強食の世界だ。反抗は、すごい。一体誰に向かって言っている言葉かと思う。様々なアドバルーンは、つぶして学校のルールを伝えていかなければならない。

Rはあいかわらず、ものすごい絵をかいて、大声をだし、とめどなく物を叩いている。同じ園のY子は、Sが学校に来なくていいのをうらやましく、登校をしぶりはじめた。5時間目は、私のちょっとした言動を逆手にとり帰ろうとする。やはり素直ではないのだ。

今までの育ちの大人に対する不信か。

この状況の中で自分を保つのは、自分の知性を保つのは、至難の技だが（時々クラスの騒音に耐えかねて廊下に出ることがある）、その技を磨いていかなければならない。

9 / 6

今日とうとうY子が休んだ。同じ園の子が休んでいるのをうらやましく思っていたので、そうなのである。

サークルの例会ではじめて模擬授業（？）をした。やる以上、せめて発問は、きちんと書いておかなければと改めて思った。

9 / 9

いよいよ通知票の季節。また、こもってやらなければならない。金曜日から土曜日は、別の用事で忙しかった。質問です。

①あかねこ直写スキルを購入しましたが、使用する場合トレーシングペーパーは、どのように購入していますか？（大量にかつ安価で）

②なわとびも購入しましたが、級の細かい説明教えてください。
よろしくお願いします。

9 / 10

例会の時、K先生が「向山氏は、修行して子どもをかわいく思うようになった」「授業は美」というようなことを話していたのが印象に残っている。齋藤喜博もR・シュタイナーも授業と芸術を極めて近いものとしてとらえていた。授業を通して芸術体験をするなら子どもたちも美しくなるわけで、それを見て私たちも感動しかわいく、いとおしく思うようになるのだろう。ただ何を美しく感じるのは、一人一人ちがうので気をつけなければ。

転校してきたSは、児相に保護され長期欠席になったので同じ園のYは、登校をしぶるようになってきた。今日も窓から身を乗り出していたそう。私が総合で他のグループを見ている間に。もし何かあったら総合のせいだ。Rは、今日も机をひっくり返し、ゴミ箱をけっていた。現在、園自体がピンチな状況みたいだ。放課後、教室の前面の掲示をはがし、シンプルにする。机の中、教室環境を徹底的にかたづけた。なんせRは私の机の中まで漁る癖がある。

また質問です。

①4年生ぐらいで劇のいい台本ありますか？

推薦するような劇（30分ぐらい）でもいいです紹介してください。

学習発表会用です。

②10月岩見沢のライセンスセミナーには私は、出られますか？（出られなくてもいいのですが一応）

③雑誌「ツーウェイ」は札幌の書店には、毎月何日ごろ入荷するのですか？

9/11

9/11と書いてみて、今日は9・11ということ思い出した。

今日3、4時間目に3年生に総合の発表をして長かった総合が終わった。どれだけの時間を費やしただろうか。TやOやYにとっては、かっこの遊び時間だった。

5、6時間目は理科のモーターカーづくり、理科室への移動からぺちやくちやおしゃべり、注意してもT、Rはやめない。よっぽど教室にもどる指示を出そうかと思ったが、時間がなくなるので止めた。最後のモーターカーは、説明しても先にやってしまう子は、後で全然ちがひ、遅くても話を聞いている子は、できていた。

放課後一人でかたづけをしながら、「どうしてこうなってしまったか」つくづく考えた。

神谷さんが、「教育実践は、自分自身との闘い」と書いていた。教室のゴミをかたづけながら、ここで負けるわけにはいかないと思った。

9/12

安倍総理がやめた。多分、うつ傾向だったと思う。ものすごい判断だ。

いろいろな人がいろいろなTV番組で言っていた。やはり「責任」ということにつきる。それは、私たちの仕事でもそう。

今のクラスは、前も書いたが、精神的に疲れる。

向山氏と寺脇氏の対談「教師の責任とは何か」を以前読んだ。辞表を胸ポケットに入れておくようなことをどちらかが話していた。

ゴミは、昼に掃除しても（私も一緒に掃除して、私も仕事をしたいので）、きちんとできてないから（みんな遊びたいので）放課後私がかたづけているのです。帰り椅子を入れない子2名。上靴をきちんと置いてない子2名。

神谷さんも話していたが、このクラスを持って、いっそう教室環境や持ち物、生活指導、学級経営について考えるようになったし実行している。でも今までで「最低・最悪」なクラスということは、変わらない。例の5人は、率直なところ、今かわいいとは思わないが、対応の仕方やそれこそ修行によって、一瞬一瞬変わってくる。その積み重ねなのかもしれない。

9／13

今日は北大の先生と話してきた。施設を校区にかかえる学校へのサポート体制が足りないことを指摘していた。

Tは昨日自転車に乗っていてころび、腕のけがをした。それでも昼休み外で遊んでいた。Tが私に反抗する私の後ろにあるものを見ることも指摘された。

Rの絵を持って行ったところ、紫色は、やはりあぶないらしい。左端の太陽は、父の存在、茶色は、おなかをすかしていることなどだいたい当たっているのが驚いた。

9／14

今日は開拓記念館、開拓の村の現地学習だった。疲れたの一言につきる。金曜日なのに飲む気にもなれない。どうも3クラスの意味疎通がうまくない。これからの学習発表会の練習が思いやられるなあ。

9／15

今日は定期購読の雑誌（ツーウェイなど）をとりに行った。学習発表会の劇指導について書いてあった。そろそろ脚本を決めなければならない。2組の先生は、いろいろ台本を持ってくる。どうやら彼女のペースになりそう。そういう場合でも固守するものは、何かを考えなければならない。

夜、子ども劇場の劇「なるほ堂物語」を観に行った。（実は私、子ども劇場の会員なので。二人の子どもはとっくにやめたが）クラスの子が二人いた。

9／16

今日は、午前中学校で作品の評価。帰りがけに図書館によって劇の台本を借りてきた。

午後は、4ヶ月ぶりにピアノレッスンに行ってきた。歌とリコーダーも一緒に練習してきて久しぶりに歌ってすっきりした。

さあ、これから今日、明日でまずは、一覧表を完成せねば！

9／17

今年は、一覧表が明日、通知票提出は、25日と、ともに連休明け。今日は1日中仕事。
やっぱり仕事は、ためないことだと思った。

また質問です。

①スマートボード、この前、波多野先生が言ってましたが、77インチと64インチどちらが使いやすいのでしょうか？

②これは、ボーナス払い、あるいは、カード使えますか？

③家庭では、DVDの試写として使えますか？

④プロジェクターは、ヨドバシとかでもいいのですか？

いつも初心者質問ですみません。

9／18

今日は、向山方式(?)で席替えをした。昨日、もう一度「ツーウェイ9月号」を読んでチェックしておいた。が...、やってみて、この方式は、今の私のクラスの状況では、むずかしいことがわかった。Tは、早速、まわりに仲間を集め出していた。が、結局重なってジャンケンになったので、少し散らばった。男女も仲が悪いとこの方式は、使えないかも。

今日、一人一人、リコーダーと歌のテストをした。Hは歌い終わった時、「どうだった」と聞いてきたので、「B」と言ったら、はげしく逆らってきた。彼の理由によると「一生懸命歌ったのに」ということらしい。Hの対応の仕方いつも気をつけていかねばと思っているのに、なかなか気難しいのでうまくいかない。

やはり前、紹介してもらった甲本さんの本を読まねばと思った。

9／19

今日は、後期の学年委員と係を決めた。以外とスムーズにいった。というのも事前に趣意説明をしたから。中休み、昼休みとも子どもたちと遊んだ。一人の子はいないかチェックしながら。

私も半年TOS Sに関わってみて学んだことがあります。

- ①子どもとの対応の仕方にも技術や法則がある こと。
- ②授業にももちろん技術があり法則があるこ と。
- ③評価においても技術や法則があること。
- ④その技術は、意識的に身につけ、法則も自ら 発見していくこと。

これだけわかるのに一体何年かかったのだろうか。でもこのことがわかっただけでも良かったと思う。

後は、同僚、親か...

9 / 20

今日は、Y子とTは目を離せないことがつくづくわかった。理科室での実験中、二人はつるんで準備室に入って、人体模型を見ていた。かぎをかけなかった私のミス。理科室を片付けて教室にもどると、今度はTとAがけんかしていた。給食後、別室でT、Aと後二人で話すが、埒があかない。この二人も仲が悪い。Tは、今まで述べてきた環境、一方Aは、毎年1回、1週間、家族で海外で過ごす。家も立派。Tは、Aにねたみを抱くと思っている。

5時間目Tは、荒れて、私に向かって「はげ、歯くさい、さわるな、」口笛を吹くなど悪態をついていた。前だったら胸ぐらつかんでつきとばしていたが、昨年、それに近いことをして、いっぺんに反抗性挑戦性障害になってしまった。

それでも、終わりころには、もとに戻ってジャンケンをして帰って行った。

今日は、サークルで「奈々子に」をした。行く前に何回か朗読をしたが、「自分を愛する心」は、今の自分に必要なことがわかった。精神的にダメージを受けている中で自分を見失わないようにしたいと思った。

9 / 21

今日は、遠足だった。Y子は休んだ。朝、園に電話したら「休ませる」ということだった。後で知った情報によると、普段学校休んでいるのに、遠足の時だけ行くのはおかしいと園が判断したらしい。こちらは、遠足だから来てほしいということもある。

男の子と「かたき」という変なボール遊びをする。なんか命ごいみたいな感じになるので私としては、嫌な遊びだがやってみた。ここでもTは、我が儘放題だ。帰りの道も休もう休もうの連発でだらだらと遅れた。校外に行くのは、スキー除いてこれが最後なので終わってほっとした。

質問。こういうTに「はげ！」とか言われた場合、どういう対応しますか？ 反抗挑戦性障害なのでこちらがかつとなったらアウトです。

帰校して3人で劇のビデオ見る。結局「じごくのそうべえ」に決めた。相方は、「ほんとうの宝物は」を拒否した。「五色の森」「寿限無」「怪盗ホープ団」も捨てがたかったが、3人でビデオを見て、イメージがわいたことが原因だった。(澤田先生台本送ってくれたのにすみません。) 結局、私は音楽を担当することにした。主は、相方にしてもらうことで手を打った。今回のおかげでいろいろな台本を読むこともできて、それなりによかった。

9 / 2 2

今日はK小へ「向国例会」へ行ってきた。私としては、向国を知りたいという意識がある。「わらぐつの神様」の授業と教材研究、千葉先生の模擬授業など勉強になった。「感動を深めるためにやるのではない。」この言葉の意味を追求していきたいと思った。

「わらぐつの神様」いい話ですね。

「反抗挑戦性障害」ヤフーでかなりヒットしたので印刷して読んでみた。当てはまることが多々ある。これも学習をつまなければ。

9 / 2 3

明日でなんとか通知表ができそう。今日は図書館とヤマハ（じごくのそうべえのCD取りに）へ行ってきた。通知表の合間合間に本を読んだりCDを聴いている。なんせ疲れるので根を詰めて書けない。長時間座っていると座骨神経が痛くなるから。

所見を書きながら、思う所が一杯ある。後期はもう少し授業を工夫しなければ、こういう風に対応しようといういろいろ策が浮かんでくる。反省もたくさんある。どうせ書くなら楽しんで書きたいものだが...

広川先生は、新しい子どもたちの分を書くのでしょうか？ 気になりました。

9 / 2 4

ようやく夕方に通知表が終わったので東急ハンズとドンキホーテに自転車で行ってきた。買い物とレンタルCD。またいい所見つけた。

一応ネットで調べた反抗挑戦性障害に4つのタイプが出ていた。

1. 過興奮型
2. すね型
3. マイペース型
4. 混合型

やんちの4人はそれぞれ別の所に入ることがわかった。

9 / 25

今日は、家を出る朝から調子が悪かった。朝から捜し物で時間を費やした。帰って来ても捜して、とうとう見つけた。所用時間計30分か。まあ見つかっただけよしとしよう。というより部屋の整理もしなければと思った。

1時間目の雷や雨からT、R、Oは立ち歩き窓へ行って外を見ている。もう授業に参加はしない。やはり外からの刺激に弱いのか？　こういう風に、外のことを気にする子どもたちの指導でいいのありますか？　「すごい雷と雨だね」というと、一斉にくずれていくと思いますが...

体育のサッカー、男子チーム2組とのゲームでシュートが入った、入らないと子どもたちが文句を言う。雨が降ったので体育館でやった。6人のチーム。半コート。

私の審判が、あいまいだったせいもある。やはり子どものゲームといえども毅然と審判しなければと思った。みなさんは、子どものゲームの審判は、どのようにしていますか？

言ってくるのは、これみよがしに例のT、O、Hのやんちゃ軍団。教室にもどってからもしつこく言っていた。こちらは、無視を決め込む。と帰りは、またジャンケンをして帰って行った。最後に私とみんなでジャンケンをして私に勝ったら帰るのです。

9 / 26

K先生の掃除力を読みました。学校のトイレを掃除するなんてすごいですね。でもそれだけ汚れているということかな。

今までもいろいろな用務員さんに会ってきましたが、だいたい仲良くできました。

この掃除力を読んで、濱口国雄の詩「便所掃除」を思い出しました。(ヤフーで便所掃除でヒットします) 一番いいところは、詩の最後です。私は、家のトイレ掃除をします。なぜかいつの間にかそうになってしまいました。

話変わって、K小のひまわり、すごいですね。この前行った時とても目につきました。そういえば校内もきれいでした。

9 / 27

つらい毎日を過ごしています。1時間でも気の抜けない授業づくり。一瞬とも目を離せない子どもたち。目を離して教室から離れたら、いつも何か事件が起きる。T、H、O、Rの男子のやんちゃ軍団は、どうして素直に言うことを聞かないのだろうとついつい思ってしまう。

Y子は、とうとう学校に来なくなった。(養護園で3年生の子とつるんで休んでいる。)

2学期入ってきたS子は、児相に保護された後、結局、親元に帰ることになった。(つまり1週間ただけで転校)

こういう子どもたちの中にいると感覚がマヒしていくのがわかる。時々、ふらふらして教室で倒れるのではないかと思うぐらいだ。

それでも明日もまた教室に向かうのだろう。

質問です。休み時間の避難訓練の時、緊急放送がありますよね。その時(子どもたちは遊んでいる状態)、子どもたちは、立ち止まって放送を聞きますが、しゃがむ必要があるかないか? しゃがんで聞いた方がいいかどうかです。ご意見を。

9/29

芹沢俊介の、「いじめ」が終わるとき」、を読んでいる。(彩流社、1600円、この方はかなり鋭いと思っているのだが、あまり知られていない。中央図書館蔵。)あとがきにこう書いてある。「いじめ」を理解することが「いじめ」に対する最大の抑止力である。いま緊急に必要なのは「いじめ」に対する微視的な処方箋ではなく、本質的な処方箋を描くための基礎を成す大きな視野の確立なのである。」と。以前、向山氏の「いじめの構造を破壊する」を読んだ。

今のクラスにおいてもTを中心とする「いじめの構造」をなんとか破壊したいと思う。(以前読んだ「勇敢な少年」もそうです。)

金曜日の体育で臨探の男の先生に男子の審判をしてももらった。いつも私が男子だったので気分転換に変わってもらった。少し男子と離れて以外とよかった。なんと女子が喜んでいました。

5時間目に前期終了の集会をする。が、これはよくなかった。集会係の準備不足とTをかえって興奮させてしまった。次の集会は、12月と3月にする。

「すべて下手だったのは私」「自分の感受性ぐらい自分で守れ。ばかものよ。」茨木のりこの詩「自分の感受性ぐらい」の最後の部分です。

9/30

今日で9月が終わり明日から10月。時よ速く過ぎてほしい。だが本当は、余裕を持って楽しく過ごしたい。そのためにも少しでも追試をしていければと思う。

後は、学習発表会の音楽と踊りを考えた。明日から個人懇談。どんな反応がくるか。すべてが、実験、研究と考えること。70パーセントでいこう。

10/1

個人懇談1日目。今日は、親からのクレームは、なかった。親は、今のクラスが落ち着いた

て見えるのだろうか。確かに参観日を見ただけでは、そう思うだろう。

子どもたちは、学校のことは、あまり話さないみたいだ。

今日のTは、教室の出入り口の上の所（窓のさん）に鉄棒みたくぶらさがっている。注意しても、もちろん言うことは聞かない。なんとか止めさせる方法がないか考えている。なんか大人げないが、策を練っている。

10/2

個人懇談2日目。通知表について、今のところ、所見について、妥当な線をいっている。

今日はOの親。教室での過ごし方については、親も理解しているもよう。2年間でわかってきていることもあるというので、少しほっとした。もう少し連絡してほしいということなのでそうすることにした。

今、一番みだれているのは、こういっては誤解を招くが、Y子、Rの園の子だ。ルールは、無視。掃除はしない。物は投げる。なかなか手ごわい。Tは、あいかわらず、ちょっとしたことでも反抗してくる。

大声を出しすぎたのか、喉をやられた。風邪の手前か。静かな教室を理想としているが、はるかに遠い。

10/3

どうやら風邪をひいた。行き帰りは、寒い教室が熱気で暑く、汗をかいてしまう。

今日は、配役決めでまたミスをしてしまった。ちゃんと名前を確認しないで、決めようとして、立候補していたと思われる子が泣いてしまった。それにつけこんで例のT、H、Oが抗議してきた。教師のミスをこれみよがしに批判するのが、どうやら生きがいになってしまったようだ。その子には、謝って、例の子には、居直っていたら、収まった。

T、Hの親の個人懇談をする。まあまあ伝わったと思う。

10/4

今日はサークルの例会に参加する予定だった。が、朝、学年の相方が、個人懇談終わったら学うちね、という感じで言ってきた。4時半のところ、もう一人が遅くなって4時45分から5時半まで、それで明日、学年で2時間ね、という感じになり、その準備に追われて、参加できなくなりました。

しかし、今回、やんちゃ君たちが相方の方に行ったので、なるべく合わせるようにした。どうなることやら。

7日、日曜日だけ私も北海道セミナーに参加で申し込んでいます。

個人懇談が終わった。一人20分とったのでゆっくり話すことはできた。通知表の評価や所見も当たってた。ほめることを強調して話すと、何故かほとんど納得していた。

10/6

今日は、娘のピアノ発表会に行った。大きくなったと思った。途中抜け出して、いろいろな用事を済ませ、また迎えに行った。

トークライン10月号がきた。

前の風邪薬が残っていたので、飲むと少し楽になった。当分アルコールは、駄目。

明日は、北海道セミナーで1日勉強だ。今の私には、励みになる。

10/7

北海道セミナー行ってきました。仲條先生もいました。

第1講座 授業者5名。第2講座、伴氏に挑む向国型授業3名。どれも勉強になった。今の私は、授業を見るだけでも勉強になるから。

午前の最後は、伴氏の最新提案。文科省の「言語力の育成方策について」の分析。鋭かった。授業の後のコメントもそうだが、ぱっぱと次から次へよくあれだけコメントできるものだと感心した。それと体調管理や自己管理も意識していて、たいしたものだった。

午後から算数の授業3名。木村氏のコメント。PISA型授業の説明と最後は、ラジオ体操第2や組体操まで教えてもらった。それと篠ノ井東小の向山氏の介入のビデオも見せてもらった。今回は、いろいろな型を学んだ。

家に帰る途中、まだまだやることは、いっぱいあるなと痛感した。

TOS SのSNSは、私は、条件、きびしいですね。無理でしょうか？

10/8

3連休も終わってしまう。学習発表会の自分の担当のやるが多すぎて、ちょっとオーバーワークぎみだ。が、相方は、また遅いと文句を言うだろうなと思う。授業の準備も並行して進めなければならない。短期勝負だ。これも勉強だと思う。

10/9

3連休の後の学校。5, 6時間目は悲惨だったな。なんかうるさいのは、うちのクラスだけ。後期に向け学級のシステムを変えていかなければと思う。

朝や帰りの会はいいと思う。朝は、挨拶と出席とり。帰りも挨拶とジャンケン。

1. 掃除は、基本的に一緒にやり速く終わるが、私の指示が多いのか私がやりすぎるのか、子どもたちの動きがどうも今一だ。指示を少なくやる気の出るような掃除で工夫していることありますか？

2. 給食も班当番(2つで8人)にして毎日交替する。食管のは、当番が配り、その他は、

自分で取りに来るが、配るのが遅い。4人が盛って4人が配る。どうでしょうか？

要するに今のクラス状況では、今までの方法が通じないので別の方法（学習場面でも）を考えていく必要がある。

やんちゃ軍団5人は、あいかわらず、私の言うことには耳をかさず、かつ反抗的だ。そう、
たまたまこういう子どもたちが集まったわけだが、毎日ほとんど全力を出し切るという感じで今日も終わった。

10/10

学習発表会、踊りは、エイサーを選んだ。できたら三線を生で弾きたいと今、練習中。その他、今日は、側転、縄跳びで二重跳びをした。

私がスーパー縄跳びで二重跳びをやったら、結構できたので、さすがと思った。しかし、側転、二重跳び、踊りを2時間やると結構きついものがある。若いころとは、全然違うなあ。

「一つの花」を TOSS ランドをみながらやっている。あるいは、向国、今までと違う反応がある。法則化、あるいは TOSS は、森有正の言葉で言うと体験を経験まで高めることだとわかった。

10/11

今日は、開校記念日で休み。午前中学校で仕事。午後からパソコンのリカバリーでなんと6時間もかけてしまった。疲れたし、時間の無駄遣いだったような気がした。でも修復してよかった。一時はヨドバシへ行こうかと思ったが、なんとかやりとげた。ちょっと画面が変わった。

今回の件で、もうパソコンなしでは生きていけないと思ったが、パソコンがなくても生きていけるようにとも思った。でもまだまだパソコンも極めなくてはならない。

質問ですが、スマートボードを購入すると、フラッシュとかデレクトリー（？）とか一緒についてくるのでしょうか？それとも別に購入するのですか？

10/12

昨日のこともあって今日は、すこぶる調子が悪い。休みの狭間の一日で子どもたちも集中力なし。で練習2時間は、たいへんよかった。

給食時間 Y 子は、教室をぬけて廊下うろうろ。また階段のネットの上にいる。Y 子の体重（かなり痩せている）からネットは、破れないとふんでいるが、まわりの手前、抱き上

げてこちらに移す。

放課後は、園と教員の交流会で園を訪ねる。Y子は、喜んで部屋に案内してくれる。Rもそうだった。

結局、エイサーは、CD.を使うことにして、生演奏は、練習不足であきらめた。少し気が楽になった。

ところで齋藤先生、へちま、ひょうたんは、なりましたか？
みなさんの所は、どうでしたか？私のところは、駄目でした。

10 / 12

昨日のこともあって今日は、すこぶる調子が悪い。休みの狭間の一日で子どもたちも集中力なし。で練習2時間は、たいへんよかった。

給食時間 Y 子は、教室をぬけて廊下うろうろ。また階段のネットの上にいる。Y 子の体重（かなり痩せている）からネットは、破れないとふんでいるが、まわりの手前、抱き上げてこちらに移す。

放課後は、園と教員の交流会で園を訪ねる。Y子は、喜んで部屋に案内してくれる。Rもそうだった。

結局、エイサーは、CD.を使うことにして、生演奏は、練習不足であきらめた。少し気が楽になった。

ところで齋藤先生、へちま、ひょうたんは、なりましたか？
みなさんの所は、どうでしたか？私のところは、駄目でした。

10 / 13

私の部屋から空沼岳、恵庭岳が見える。まだ雪は降ってないようだ。20数年前初めて6年生を担当した時、今では考えられないことだが、クラスの希望者と親で、体育の日に山小屋一泊で空沼岳に登ったことを思い出した。その時も晴天だった。

高校時代には、芦別高校の山岳部で芦別岳、富良野、大雪、暑寒、ピンネシリなど空知の山々を登った。教員になっても仲のよい先生方と空沼、札幌岳、アポイ岳に登ったこともあったが、今は残念だが、なかなか登れない。

子どもが小さい時、一緒に登ろうと思っていたが、その機会もなくなってしまった。

質問ですが、前期の評価が終わったけれど、TOSS で所見の書き方、文例など資料あるのでしょうか？ 管理職などは、総合の所見で「やった事実だけ書くのではなく、やってみて

どのように変わったのか書くように」と言ってます。所見の書き方でいい方法がありますか？

10 / 14

今日は、午前中、学校と図書館。お決まりのコースだ。粘土を釜から出した。うまく焼けていてうれしかった。

豊平公園で橡の木の実をさがしたが、なかった。精進河畔公園では、イタドリの枯れ具合を見た。茶色になってから小さく切ると笛ができる。

午後から歌とピアノレッスン。主に学習発表会の曲をやってもらった。

夜、実習生の文をようやく書いた。

8 / 31

2週間、たいへんご苦勞様でした。学校現場は、いかがでしたか？ 多分垣間見たのは、「学校」の一部分で、教師になったらその仕事の多さに驚くかもしれません。また、様々な困難にもぶつかるでしょう。その時には、一人で思い悩まず、同僚の先生に相談してみてください。職場に一人くらい話し相手は、いるものです。いなければ友達やサークルなど自分でさがすことです。将来、よい教師人生をおくることを願っております。

ノートの最後には、こう書いた。

今の時期は、大学生活のラストスパートに入っていることと思います。何点か今の私が感じていることを述べて、このノートの締めくくりとします。

①失敗から学ぶ...来年、学校現場に入ると、最初は慣れないので、いろいろな失敗をすることもかもしれません。でも、そのことから学ぶことは、いっぱいあります。若いうちは、失敗した時こそチャンスととらえ、多いに学んでください。そして、様々な困難を乗り越えてください。

②術を鍛える...若さだけで対応できなくなる時が、やがてきます。その時、子どもたちを惹きつけるものが、いくつあるかです。また席替えのやり方、黒板の消し方、画鋏の刺し方などなど細かいことにもそれぞれ方法があります。授業の出だしも定型がありましたね。それらを一つ一つ身に付けていくことです。しかし、急いであせってはなりません。

③学問と文化こそ...教師自身が、最新の学問、文化、社会知識を持っていなければなりません。同時に子どもたちを惹きつけるような現在の裏文化も幅広く知っていることも大切

です。常に学ぶ姿勢を持つことが大事です。

④子ども観、人生観、世界観を鍛える...これから何十年か教師人生をおくるとしたならば自分のいろいろな「観」も育てていかねばなりません。そのことが、様々な子どもたちを自分の中に受け入れることを可能にし、また子どもとの対応する力にもなります。「観」を育てる大切さは、現在を生きる子どもたちにとっても同じです。

⑤自分を表現できるものを...教師＝「表現者」として自分の言葉を使って話せることが大切です。言葉のほかにも何か表現できるものがあるとなおよいでしょう。そのことは、子どもたちも同じように大切です。

⑥自分の心と身体を大切にすること...忙しさの中でも休息を上手にとることです。かっこよくできなくても生きていくことです。

私も資料の中に埋もれていますが、実習記録をまだ持っています。実習生を担当したのは、あなたが3人目で、前の二人は、教員をしています。だから大丈夫だと思います。

最後に私の尊敬する森有正（仏文学者）氏の言葉を書いておきます。

「エキリーブル（釣合い）を与える人」 ―ほんとうの教育者はと問われて― から。

『私は、理想的な教師は、勇気のある教師だと思っている。また生徒の中に勇気を涵養する能力のある教師だと思っている。』（森有正全集5． 筑摩書房）

あなたの夢が叶うことを願っております。

北村 公一

私としては、自戒を込めて書いたつもりですが、どうでしょうか？ きざっぽかったかな？

10 / 15

今日は、5時20分から学年3人で劇の道具づくりをした。終わって学校出たのが8時15分、家に着いたのが8時50分だった。

相変わらず月曜日は、T、R、Y、O、Hの5人は、集中力ない。それでもなんでも授業を進めなければならない。

10 / 16

今日のはじめて、せりふと踊りを合わせてやった。2時間とおし練習。まあまあうまくいく予感はある。その後、5、6時間目は、集中力を保つのがなかなか難しい。6時間の日は、うんと授業を工夫しなければならない。

家に帰ってから自分の部屋のストーブを出したり、冬服を出したりした。後、半月で11月。クラスの5人とは、最低ドローの覚悟でやっていこう。向山氏の「ネバーギブアップ」の文章、神谷氏の学級経営の図をラミネート加工してカバンの中に入れて歩いて通っている。

10/17

今日は、職員会議だった。学校評価のことを問題にした。ここでは、アンケートと称して評価を昨年から始めた。子ども、保護者に記入してもらうわけだが、無記名ですることにより、言いたい放題状況でもある。確かに無記名では、本音が言えるということもあるが、無責任になり、疑心難儀となる。

みなさんの学校では、学校評価を子、保護者にしていますか？ その時、名前は、どうしていますか？

縄跳びでダブルダッチのコツどなたか知っていますか？もしよろしければ、明日の例会で教えてほしいのですが...長縄2本持っていきます。

10/18

5時間目ビオトープに行って砂糖大根（ビート、甜菜）を収穫した。きれいに水で洗った。どなたか砂糖の作り方知っていますか？ネットで調べても出ていなかった。

例会では、今日の授業「一つの花」をしたが、やはりなかなかむずかしかった。準備不足につきる・

今日は、帰りがけにHが反抗してきた。Hが友人にたたいたり、けとぼしたりしている時に私が教室に来て、制止したところ、今度は、矛先を私に向けてきたのだった。かなり激しい反抗だったのでHが下校してから、親に事情を話したところ、例会に行く前に親とHから謝罪の電話があった。ひとまずほっとした。

10/20

昨日は、19時過ぎに帰宅。どっと疲れていたのが野球を見ながら飲んで、早々に寝てしまった。

先日の例会で、言葉を削る、語尾のあいまいさ、語尾をのばすところなど指摘されたが、私もそこは、気をつけている。が、なかなか改善されないのが現実。今のクラスで授業を

することは、もしかして授業力を鍛えることにつながることを痛感した。この職についている以上、年齢は、関係ないだろう。

来週の日課を作っていたらびっくりした。火曜日と金曜日が入れ替わって提案されていたのだ。金曜日が6時間となり、札教推の欠損時数を確保したみたいだ。また学習発表会も月曜日課とみなされ5時まで勤務。みなさんのところは、どうですか？

10/21

今日は、K小の学習発表会に行った。H先生と会った。

3年生の「本当の宝物」と5年生の「西遊記」を見た。「本当の宝物」は、ああいう風にやるんだと流れがわかった。3年生は、がんばっていましたね。5年生は、落ち着いて演技していました。H先生のパソコン画面が良かったです！それときんと雲と。最後の歌もとてもよかった。合唱の先生が入ったかいがありましたね。校長も感激してうるうるしていました。

校長と廊下ですれちがいざまに私が来ていることにびっくりしていました。実は、Tさんとは、大学で彼が1期上の同じ学科でした。

帰り学校によって、学習発表会で使う道具に習字で字を書いた。明日使うので明日までかわかすために無理して今日書いておいた。夕方、「手話で歌う」講習会に参加した。たまたま近くでやることがわかったので。

これからまだまだやることが、ある。

10/22

ようやく平山諭さんの21のスキルの書いてある文献を読んだ。熟読して、これもコピーして持ち歩かねばと思った。

今日は、2回目の体育館練習。昨日習字で書いた物をさっそく使ってよかった。

夕方、男の先生が少ないのでバレーの試合に出た。なんと勝ってしまった。

定期購読したTOSS系の雑誌を取りに行ったが、読むのたいへん。「楽しい体育～」ダブルダッチのこと出ていましたね。

10/23

3回目の通し練習でようやく劇らしくなってきた。明日は児童公開日。

平山諭さんの本を読んで、5人の今までの行動様式を少し（だと思うが）理解した。本の中にあったフロイトの発達段階の特徴もよくあてはまっていた。理論づけになると思った。

夜、音楽療法士の中山ひさ子さんの講演会に行ってきた。「ホスピスケアと音楽」将来、

音楽に関わって何かできればと思っているのだが...そのためには、こちらも学習・練習していかなければ。

10/24

児童公開は、まあまあのできだったが、その後が、よくなかった。緊張の糸が切れたせいか、ビオトープの草取り中も T と R は、腐った芋を投げて遊んでいた。5人に共通することは、自分のことは、さておいて、他者の欠点ばかりに目がいき、そこをとらえ攻撃することだ。弱みにつけこむことには、長けている。それに T と R は、手を出すので始末が悪い。平山諭さんは、我慢する精神は、マイナス5～6歳と書いてある。つまり4歳か5歳児ということ。フロイトの発達段階では、口唇期、肛門期、性器期で、とってもあてはまる。

5時間目の国語もうまくいかなかった。1時間授業するだけで終わったらどっと疲れる。こういう日は、授業は、無理なのか。というよりこちらの工夫がたりないのか。かなり落ち込んでいる。

10/25

今日の児童公開は、他の学年だったので、体育館から抜け出し、やらなければならない仕事をしていて。とても貴重な時間だった。この時やった仕事の一つ（教室のTV交換、こわれていた）が、すぐ給食時間に役立った。（校内放送があったので）

今日は、Tとの論争(?)でかなり優位に立てた。まわりを巻き込むことに成功したように思う。Tの横暴な言動、態度の事実一つ一つを皆で確認するようにしていきたい。叱る、注意するというより事実を確認するだけでいいと思った。今、彼は、こう言ったね。今、彼は、誰々に対してこういうことをしました。皆さんそうですね。というように。そうすることにより、普段どんなにかっこつけていても化けの皮が剥がれる。

私自身が話す言葉もメモして書き留めておこうと思っているが、なんせ時間がないが、やらなければならない作業だ。神経も気をつけなければならない。

10/26

一つの花の山場が終わった。3文で1時間使った。まあまあ迫ることができた。分数もまあまあよかった。その後、最後の練習。5, 6時間目は、また悲惨だった。Tの「席替えしよう」のしつこさには、まいった。ほんとに我慢のできない4, 5歳児という具合だ。しかし、なんとかドローに持ち込んだ。泣きたいぐらいのつらい毎日だ。

10/27

今日は、校区のN小学校の学習発表会に行った。3年生の「本当の宝物は」だけ。2回見

て、ようやくこの劇のよさがわかった。

午後から特別支援教育の保護者研究会に行った。北大の先生の講演。発達障がいについて。だいたい同じことを言っている。

平山さんの21のスキルを自分の実践の糧にしたい。机間巡視でも、できたかできないかでなく、そばに行って、話しかけるという意味だとは。発想を転換しなければと思った。

10/28

学習発表会が終わった。よくできたと思う。問題は、これからの歩みだ。

帰って来て、飲み会までの間、手話で歌うの講習に行った。

今日は、「涙そうそう」だった。覚えてよかった。

飲み会では、学年の先生方と飲めてよかった。来週からまた平常の生活だ。心してかかるねばならない。

10/29

朝早く起きたので、ずっと読書していた。午前中は、レンタルビデオ、ゲオに行く。「パッチギ LOVE AND PIEACE」を借りる。半分しか見れなかった。昼からピアノレッスン。

明日からのことを思い描くとつらくなる。70パーセント主義をとえよう。

10/30

今日の席替えは、一人を除いてほしいというまくいった。明日からどう機能するかだ。5人もほしいらばった。5人それぞれ対応していかなければならない。机間巡視を今以上にアップすることだ。そして一言ずつ話しかけること。ほほえむこと。学級のシステム化、授業のシステム化を作ること。

10/31

今日の体育は、外。シャッター物置を開けっ放しにしておいたら、T、Y子、Hは、中の物を出して遊び始めていた。刺激のあるシャッター物置も道具を出したら閉めておかねばならないことがわかった。教室でも彼らの刺激をできるだけ少なくすることなのか。

やむごとなき用事のため日曜日の夜まで送信できません。例会も休みます。

11/4

札幌にもどって来た。11月4日。もう11月なのだ。冬休みまで後2ヶ月きった！

先週8000円でMDを修理してもらった。今週から録音を始めるつもりだ。せっかくなおしたから。

明日久しぶりに学校。1日休んだのが、どうだったかと思う。

11/5

うむ、休んだ時は、結構うまくやっていたようだ。他の先生の時は、ちゃんとやる。後は、参観日、TTが入った時なども。だからそういう時は、授業もわかりやすく教えている。若干、体調が悪いので明日、病院へ行こうと思っている。

ところで、グーグルの g-mail G-mail って何でしょうか？

11/6

どう考えても5人は、「行為障がい」というほかないと思う。に至った。共通していることは、

- ①他者とのコミュニケーションが、いたずらや暴力でしか表現できないこと。
- ②学力が、かなり低いこと。
- ③やはり、家庭に何らかの問題を抱えていること。
- ④我慢できない、自分のことは、さておいて他者攻撃に走ること。
- ⑤反抗的であること。

もう一人、Fが、似たような症状をだしてきた。この子は、1年のころ不登校になりずっと、母親が教室の後ろで見っていた。要するに甘えん坊。

そうすると6人になる。34人中、6人。17%だ。6%の比ではない。今日みたく6時間ある日は、「勘弁してくれよ」と言いたくなる。

11/7

今日は、ALTの授業。オレゴン州、ポートランドから来た。結構、楽しかった。

理科でマッチの付け方、アルコールランプの付け方をした。一人一人やった。少しは、慣れたと思うが、どうなんだろう。

子どもたちは、興奮して、騒々しかったなあ。これも体験か！

70%主義。

11/8

5人に共通なこと（続き）

先に5点書いたが、更に気づいた点。

- ⑥声大きい。（子によっては、奇声を発する）
- ⑦掃除が嫌いである。なんとか逃げようとする。
- ⑧体育が好きである。

- ⑨集中力が15分から30分が限界。
- ⑩時々立ち歩く。
- ⑪集団、グループ活動が苦手である。
- ⑫被害者意識が強い。
- ⑬あるもの、あることにこだわる傾向が強い。
- ⑭よく嘘をつく。

以前、5人の行動の記録をつけようとして5人分のノートを用意したが、多すぎてつききれなかった。ノートを1冊にしたらいいことが、本を読んでわかった。

11 / 9

今週は長かった。今日昼休み、久しぶりにけんかがあった。

TとAだ。「かたき」のボール遊び。（「ふっかつ」とも言う。）TのワンマンぶりにAが切れたのだ。もっともな話。Tに抵抗する子が出てきてほしいと思っていた。その場で話し合いをしているとTが泣き出した。Aは、勝ったと思ったただろう。それでいいと思った。実は、Aから2、3日前、Tのことでクレームがきていた。その時、話し合っていればよかったのか、こうしてトラブルがあった時がよかったのか、どちらがよいのかわからない。2、3日前だと、Tは、Aが告げ口したとして有位にたっただろう。Aは、がまんしていて、爆発した。私には、多分不信感を持っただろう。

給食準備中は、Hは、Tに何か言われて泣いて、隣の女の子に切れていた。Hは、こだわりと、思いすごしがはげしく、こうなったら手がつけられないので、ほっておいた。迷惑なのは、隣の女の子なのだが、二人を呼んで、話し合いをしてもTは、いつも興奮して冷静にならないのでやめておいた。

その5時間目、5年の研究授業があった。あまり行きたくなかった。案の定、教室では、例の5人は、自習できなくさわいでいた。各学年計6回全校研がある。6回自習は、きつい。

5時間目の終わりころ、帰る用意をして密かに子どもたちを体育館に移動させ、遊ばせた。そのまま授業を見る。授業が終えて体育館に行き、ドーパミンを発露させている子どもたちの遊ぶ姿をみていた。けんか、けががなくてよかった。

理科の実験ですが、ふっとう石って理科室においてありますか？ 理科の担当の先生に聞いたら、焼き物のかけらでいいと言われました。

11 / 10

例会の翌日、「アップとルーズ」の続きをした。確かに要約には、適していないことがわかった。雑誌「向国」の最近号にこの授業があったので参考にして追試をした。結構うまく

いった。この線でいってみようと思った。

例会の時、S 先生が話していた説明文の参考図書もう一度教えてください。

11 / 11

今日は、リフレ札幌へ向山恵理子さんのニャティティの演奏を聴きに行った。聴いてすぐ「これは本物だ」と思った。結局最後まで聴いて、最後は、参加者全員で輪になって踊った。昨日からアフリカキャラバンをやっていて、昨日、今日と時間を見つけて行ってきたが、今のアフリカの現状が、ややわかった。特にケニアのスラムの様子、私たちができることなど。

今、甲本さん、平山さんの本を読んでいる。先週の休み時間のケンカなどは、休み時間が無法状態になっている訳だが、甲本さんのように休み時間まで一緒に遊んで、子どもを見るということは、現時点ではなかなか、むずかしいなと思う。ほんとは、そうあればよいのだが。みなさんは、休み時間どうしていますか？職員室で、だべるなんてはるか昔ですね。

11 / 12

今日も悲惨だった。月曜日 5 時間目の音楽は、やめた方がいいかな。T、O、Y 子の 3 人は、なかなか集中がむずかしい。

他のがんばっている子を見ていかなければ。と強く思う。

月、水、金の 5 時間目の最後に「はりきりタイム」というものがあり、練習問題を解く。この時間もプリントを用意して有効に活用しなければと思う。今まで少し形骸化してきた。みなさんの学校には、こういう時間がありますか？その時、何をしていますか？

今日は、職員会議。何故か月曜日が多い。月曜から疲れる。学校評価の項目すべてに「私は、～」という但し書きがつくようになった。私は、どうだったかという反省・評価という訳だ。私がどう主体的にかかわったかということの評価したいという教務の考え。そうだとすると私は、あまり積極的に関わってないのでほとんど C か D になる。どう思われますか？

11 / 13

今日も T の反抗は、ひどかった。どうしてあれだけの暴言がでるのか、本当に考えていかねばならない。LD+ADHD+反抗挑戦性障害という三重苦だ。版画の下絵で「線を太くして」と言っただけでもものすごい反発。ようは、描くのが面倒くさく嫌なだけ。「もう描いた」と言い張るのみ。

暴言に対してこちらも同様に暴言を真似していたが、それも言えないくらいのひどい内

容なのでやめた。かえって興奮をあおるだけとなるし、改善されていかないことがわかった。時には、くじけそうになる。負けてなるものかと思う。が、なかなかいい手、いい方法、万策が思い浮かばない。というのが現状だ。

11 / 14

今日もいろんなことがあった。行動記録をつけようとしても事件が多すぎたり、忙しかつたりでつけれない。こうして夜になると、明日に向けてやることがある。

今日の成果は、TやHと普通に話しできたこと。(普段のバカ話)彼らに必要なのは、親身に話しをすることか。しかし、Tは、帰りがけ携帯のゲームをやっていた。即、親に電話した。

Rは、あいかわらず、私の引き出しの中やテレビ台の下の棚をさぐる。放課後、棚の中を片付けた。

Y子は、教室がうるさくなるとそれに輪をかけるように「キャー、キャー」と奇声をあげる。まるで自分の存在を示すように。

- ・授業の妨害をする。みんなの勉強の邪魔をする人は、校長室に行って、校長先生と話しします。

- ・そういう態度をすると親(園)に電話します。

と言うと、その時は、静かになるのだが。この指導も限界あり。

- ・後は、ほかの子を味方というか、他の子に真意、善悪を問う。
- ・叱らないでやった、言った事実を確認する。

- ・普段から話して、信頼関係をつくる。(今日のように)

万策を考えていかねば。

11 / 16

昨日は、用事があってパソコンを学校に置いてきたので夜、ひらけなかった。

Tの目にあまる言動、行動に対して3時間目、職員室に連れて行き、教頭さんに算数を見てもらった。私も加藤先生が書いてあるように学校体制を考えねば、続けていくのが、だんだん難しくなっていくような感じがしている。

Tのいない時に子どもたちに話した。甲本さんが書いてあることだが、先生が怒ることとして、

①命に関わること

②友達に言葉や暴力で傷つけた時

③何回も同じことを繰り返し、なおさない時（おしゃべりなど）

4時間目になる時、プリントを持って帰ってきた。

給食時間もたち歩きがひどかった。注意するとまた反抗してきたので別室に連れて行き、1対1で話した。最初、反抗してきたが、こちらも受容しながら話すと、少し神妙になった。突然かかってくることも想定しながら、今後は、対処しなければならない。

前日は、授業中、雪が降ったと窓に寄って行ったのが、T、R、O、Y子の例の4人。Hは、行かなかった。前の雷の時と一緒に
だった。そんなに雪がめずらしいのか？授業がおもしろくなく、授業に集中してないということなのだろう。それもTTの授業だった。そんなこんなで疲れた。二日間だった。
やはり学校体制をつくらねば。

11/17

今日は、午前中、札向国、午後、北翔大学、夜、友人の父親の通夜と大忙しだった。

札向国は、米里小。O先生の学校だった。個人で購入したという琴が多数あり、すごいと思った。「ちいちゃんのかげおくり」の授業案の検討。千葉先生の考え方は、とても参考になる。

午後の「コーチング」は、学生による「ごんぎつね」の模擬授業。昨年に続き2回目らしい。T先生が、発達障害の子がいた時、「校長でも教頭でも使える人は、使おう。」という発言をしていて、私もそういう考え方になってきていると感じた。来週こそ、校長に授業参観をしてもらおう予定だ。それと少々頼りないけど「ひまわり学級」の特別支援の先生にも声をかけようと思っている。やはり少しずつ広げていかなければ打開しない。プライドも恥も、すでに関係ないと思わなければ、この仕事は、やっていけない。

S先生は、TTの他に誰か授業に入ってもらっていますか？

また特別支援の先生とは、よくお話すると書いていますが、授業とかも見にきますか？どの程度の相談なのでしょうか？

11/18

昨日、学習発表会以来、お酒を飲んだら睡眠時間が、変になってしまった。だからお酒は、避けていた。

今日は、学校、図書館へ行った。後は、読書とかいろいろしていた。

明日へ向けて対策を立てた。

11/19

今朝2時間目の算数の授業を校長に見てもらった。休み時間校長室で少し話した。そんな

んでもないと楽観視していたが、今後も校長、教頭、総務を使おうと思う。それと学年、特別支援の先生にもみてもらうつもり。いよいよ本格的な闘いが始まった。今まで見た TOSS の授業を参考にしていくつもり。

T は、まるで愉快犯のように友達を挑発し傷つける。それも 5 分休みに。この 5 分休みも空白にしてはいけないことがわかった。

T や O の親、R や Y については、園の方に連絡しようと思うが、いつも躊躇してしまう。実態を話しても、親は、どうすることもできず、ただ困るだけではないだろうか。いい切り出し方がありましたら教えてください。

11 / 20

今朝は、歩き、地下鉄で行った。学校に着く頃には、服はべちゃべちゃ。5, 6 時間目、版画で彫る作業をした。Y 子以外、T も集中してやっていた。なんせ T の実家は、車の板金工なので木工は、得意なのだ。

体育も、2 重とびに挑戦、おんぶリレー、馬とび、ゴムとびなどしてから、跳び箱に入った。これも TOSS ランドの実践だ。

おもしろくやるのが、うれしかった。

帰りは、風に巻き込まれて、たいへんだった。

11 / 21

今日は、給料日か。

明日の例会は、授業は、しますが、お聞きしたいことが何点かありますので、まとめた資料を持って行きます。

今日、総合で手話落語家の林家とんでん平さんに来ていただき、4 年生と親、何人かで、手話や落語を聞いた。あの 5 人もおもしろく聞いていた。やはり話術と中身だと確認した。

11 / 22

今日 T は、ストーブの上に寝転がっていた。同じポーズを H もやる。背中が寒いのが共通か。T も Y 子も R も H も寒がりによくストーブにやってくる。もしかして自律神経がへんなのか？

特に T と R は、暑い時もあって、その時は、よく窓を開けていた。体温調整がうまくいってないのか。T は、ほっておいたらそのバカさ加減がわかったのか、座席に着いた。今度からも危なくない限りほっておくことにした。

5時間目、また全校研で自習。案の定、Tは、やりたい放題みたいだった。しかし、プリントが終わって調べ学習では、「昔の道具」を熱心に調べていた。ほめたら、逆に怒っていた。へたな（心にない）ほめ言葉は、Tには、通用しない。

放課後、5時間目のことが聞きたくて、学級代表やその他何人かの子を残した。（図工室の掃除という名目で）Tのことが話題になって、盛り上がった。そこで「被害者の会」を創ろうとなって会長は、先生みたくなくなってしまった。それはともかく「こういう風が集まって話したい。」という意見が出たので来週から週1回ぐらい放課後話あえればと思った。

最近F（以前書いた子。1、2年のころ母親から離れることができないので、いつも母親が教室まで来ていた）もへんなので、早めに家に電話を入れて、状況を知らせた。そろそろ園にも電話して状況を知らせる予定。電話作戦開始だ。

例会で示した資料（ごんぎつね、学校評価、アンケート）について何か参考意見がありましたら、お願いします。

11/23

今日は、苦小牧へ。9時に家を出て、会場に着いたのは、10時半。授業の2人目の途中からだった。S先生、よかったですね。ブレヒトに「美しいのは、行為である。」という言葉があります。授業するみなさんには、それが感じました。

今ごろは、汽車の中で飲んでいるのかな。私も家に着いてから風呂に入って飲んでいます。

M先生やS先生から、子どもの様子が非常に似ていて安心(?)しました。私のクラスだけじゃないと。M先生にもああいう体験があったのですね。私の場合は、たまたま遅かっただけの話か!H先生には、職のないつらさや「たかが4年生」という言葉が印象にあります。言えることは、もしTOSSに出会わなかったら、今頃どうなったかです。

また、いろいろ勉強していきたいです。

11/24

昨日のセミナーのメモを読み返してみた。Mさんも話していたが、淡々と授業するしかないと思う。その授業にかける。

12月の参観懇談で他の2クラスから合同体育で跳び箱の話が来ている。それと、また総合学習をクラスばらして環境とかで一緒にやりたいと来ている。この2つに対してこちらも明確なビジョンを持たなければならない。やる、やらないとしても。

しかし、どうしてこうも一緒にやりたがるのだろうか?私のクラスを心配してというの

でもない。ただ一緒に同じようにやりたいだけ。かたくなに拒むのも何だし、考えてしまう。こういう場合、どうしたらよいのでしょうか？

11 / 25

先週、校長に授業を見てもらった時、クラスの状況をたいしたことないと言っていたが、わかっていないと思った。教頭、総務、特別支援学級を使おうと書いたが、無理矢理、座らせて学習させるのは、かえって反発されると予想される。しかし現状でいいとは思わない。

先週の例会で K 先生の資料を読んだが、小学校は、最終的には、担任か。

そうすると、昨日書いたが、やはり学年で一緒にやっていくのが、ベター（ベストでなく）なのかもしれない。と思い始めている。

後は、自分のパーソナリティを変えていくことだ！ただしあくまでも秘めて。

11 / 26

なんか疲れてきたので無理にはりあうのをやめよう。現実、現実としてうけとめ、もっと話したり、公開しようと、M 先生の話聞いて、肩の力が抜けた感じがしている。存在の大きさというのかな。そういうものにふれた感じ。どうにでもなれということではなく、びくびくしたり、おどおどすることは、ないと。一種の開き直りかな。

M 先生のリコーダーの楽譜には、脱帽。どれだけ自分が、工夫してこなかったか、わかりました。自分自身の努力・工夫と子どもに寄り添った努力・工夫は、別物だということもわかりました。今まで自分自身の努力しかしてこなかった。

11 / 27

帰宅してから急いで体育の授業案と国語の授業案を書いた。

明日の学年打ち合わせで提案するもの。結局は、学校の研究の流れにそいながら、こちらのやり方を所々取り入れた。

今日 R は、友達に手を出して、取り押さえられた友達の手のところを今度は、かじった。赤くはれただけでことなきを得た。保健室で冷やしてもらった。放課後、かじられた子の家と養護園に電話した。昨日 Y 子は、T の悪口が嫌で職員室で学習。5 時間目の図書室では、さかんに私の上靴のにおいをかいでいた。これは、どういう意味があるのだろうか？ 今日、席を T と離したら、うまく座っていた。

11 / 28

今日は、児童会の「広場」の日。3 年生以上のクラスが、ゲーム、お化け屋敷、迷路など

をつくり、前半、後半に分かれ遊びに行く。子どもたちは、熱中するが、へたをするとやりたい放題になる。空白時間を作らないようにした。うまくいったと思った帰り、H が、僕の段ボールがないと言ってきた。使い終わった段ボールをふりまわして遊んでいたの、図工室に置いて帰りに持っていくと指導したが、片付けられていたのだった。また、怒って泣きながら帰っていった。どうも彼とは、うまくいかず、すれ違うことが多い。図工室でなく、教室の後ろとかにしておけばよかった。うまく行かない時は、うまくいかないです。

11 / 29

やっとの思いで理科の実験を終えた。なんせ理科室に行ったら、あるいは、実験は、自分がやりたくて仕様がなないのだ。順番を守らせるのがたいへん。食塩（寒剤）を混ぜると急に温度が下がる。水から氷ができると、みんな驚いていた。が、今日は、5人の行動にあまり、かっかかっかしなかった。少しずつだが、余裕を持てて見れる。しかし、理科準備室では、一人叫んでストレスを解消した。

悪いニュースは、続く。知能指数か偏差値が39とかいう女の子、それもよくトラブルを起こすという子が、転入してくる。一番人数が少ないので必然的に私の組に決まる。2人は、何も言わない。どこまでもついてないと思う。これをどう考えよう。

昨日のHの件。今日、私とHの関係は、かなり復活したので、まあまあよかった。こんなことでも交流は、深まるのか。やっぱり、こちらの態度しだい。「やんちゃを受け入れる度量」や、こちらが成熟することだと思う。

11 / 30

今日、教頭に転入生のことで相談した。結局は、(私のクラスの)人数が少ないので、(他のクラスに入ったら)親から見ても変と思われる、と言ってきた。これ以上話しても無駄と思ったのでやめた。

来週、12月、また席替えの時期がきた。今度、隣どうしは、男子とか女子にして4人編成にと考えている。隣を男子と女子にするということもないですね。というか、RやTの隣になるのを嫌う女子がいる。隣を男女にするにしても、くじ引きが、あとくされなくいいと思っている。教師が決めるのは、どうも抵抗がある。(今、教師の統率力が落ちているので) どう思いますか？

今日、相方の先生が、琴似中央小の研究会に行った。帰ってきて研究部長と、「一問一答だった。」「参考にならないね。」など話していた。

12 / 2

午前中、学校へ。そこに10年研の若い先生。この方とは、愚痴の言い合う関係。印刷室で私は、印刷しながら話していると、日直代行さんが来て、若い先生に向かって、教頭に

言われているので、おしゃべりしないで、さっさと仕事しなさい、みたいなこと言われて、嫌な気持ちになった。子どもにもああいふうに怒らないようにしようと思った。それより、どうも教頭は、休日に学校に来て、なにやら仕事をするのを何やってんだか疑っている気配を感じる。というのは、先週も Y 子が、教室に入らず、保健室や職員室で学習するのを「もうちょっと授業を工夫したら。T との関係で学級経営をちゃんとやったら。」みたいなことを言ってきた。やって、こうなっているのだから仕方ないと開き直るしかない。保健室や職員室では、教室より学習をやるようなので、ここぞ TOSS 系のプリントの出番だと思っているのだ。

午後から、林家一門の落語を聞きに行った。結構おもしろかったし笑えた。

12/3

月曜日は、たいへんだ。今日から歩き、地下鉄、歩きで、学校までの道のりをぼんやりと歩いている。歩くことが気分転換になる。

まず、転入生を迎えてひとまずほっとした。聞いているより（低学力、トラブルを起こすなど）は、そんなんでもなかった。情報は、気をつけなければならない。

席替えのくじ引きは、やはりだめだった。即、対面方式に切り換え、男子から先に座らせ、次の女子の時、ある男子を嫌がっている子には、そっと隣が誰か教えてあげた。自分で場所ともう一人を選ぶことができるので本意では、ないが、今の状況では、仕方がない。隣の席の子を嫌がったら、「場所は、自分で決めたのでしょ。」と言えるし。やはり隣は、男女とした。この線は、ゆずれない。

昼休み、久しぶりに体育館でけいどろをして遊んだ。しかし、5時間目とった子どもたちからのアンケートは、散々だった。（この前の例会で紹介したもの。「学級は、楽しいですか」「授業は、わかりやすいですか」など）とくに「困った時先生に相談できますか」で D が 7 人もいてショックを受けた。

12/4

今日は、H だった。給食のおかわりの時、今日に限って「ご飯のおかわり！」と私が言わなかった。あまりなかったからだ。ちゃっかり A が来て、おかわりしていった。それを見ていたのが、やはり T で「あー全部とっていった。H がかわいそう。半分やれー。」とわめき始めた。やばい！と思ったが、時すでに遅し、H は、怒っている。前も給食のことでもめているのだ。T の嫌なところは、それを見て、ますます挑発させるのだ。H は、後で泣かすと言って、掃除中に A にかかっていった。そこから私が入って、説教。納得させるまでかなり時間がかかった。こういうレベルなので、毎日疲れるが、やはり、給食のおかわりは、気をつけねばと改めて思った。

朝は、M 子が昨日休んだので席替えの席が嫌だと泣いていた。それを見ていた T や D が後ろの女の子に「泣かしたのお前だろう。」と言って別の子を泣かした。朝から大変だった。

というのは職員朝会が延びたので教室に行くのが遅れたからだ。その原因は、学年の相方が、集団下校のことで指示がはっきりしてないと、教頭にくっついてかかっていたので仲介役をやっていたからだ。

転入生は、2日目からやはり予想通り走り回っていた。

これを読むとなんてすごい職場でクラスだろうと思うだろう。

12/5

今日の参観は、合同体育、跳び箱。一応私が、授業案考えて3人で話し合って決めた。やんちゃぼうず群は、相方にまかせ私は、跳べない子を担当した。向山氏のA式は、いいが、どうもB式は、抵抗がある。それで仮説に出ていた小久保式をやったが、突然だったので、ちょっとむずかしかった。それでいつものようにトントントン...ポン、ポーンの2拍子になおした。懇談は、参加10名。相変わらず、宿題を出してほしいという要求。みなさんは、宿題とかプリントで出していますか？

学級経営についての文句は、でないが、不信感、信頼されていないということは、子ども同様感じる。

以前、先生が叱る時の原則を示した。しかしTなどは、しょっちゅう叱ってなければならない。そうすると授業に支障をきたす。Tは、それをねらってわざとやるのだ。注意しなければならない。みんなの前で叱るか、個別によんでやるのか。どっちにしろ授業は、中断する。個別にやって昨年失敗してこうなった。今は、みんなの前で叱って、すぐ授業に切り替えるという方式をとっているが、なんと疲れることか。その叱り方、対応の仕方、言い方、切り返し方など工夫していかなければならない。あるいは、全体がうるさい、5分休みで立っている。すぐ授業に入れるようにしたい。そういう術を今、探している。

12/6

例会で授業やってよかった。問題点が浮き彫りになった。もっと緻密に考えていかねばならない。アンケートの集計もいろいろ意見をいただいた。今日、親のアンケートで「授業の工夫」でDがついていた。そして「わからないまま放置している」ようなことが書いてあった。批判は、批判として受け止めねばならない。

転入生Sさん。Tに向かって対等にやりあうのでTが、かっかして、切れていた。今まで女子でTに向かって言う子がいなかったからだ。で、とうとうSが、泣いてしまった。その時、Tは、「勝った」と言ったので「負けだ」と言ってやった。Sは、「学校に来たくない」と言い始めていた。帰りがけ、何人かの女の子と話しをした。団結を説いたが...

5時間目のパソコン。ヤフーキッズで礼文町を検索させた後、ヤフーキッズの学習を開いていいよと言ったところ、お気に入りに入っていた、「恐怖の館」の「ウォーリーを探さ

ないで」をやっている子がいて、それがあっという間に広がってしまった。ええい、もういいやとして、その時間は、捨てた。もう当分パソコンは、できないなと思った。しかし、何でこんなもんが、お気に入りに入っているのだ！

夜、のぞいてみたら、ひどいもんだった。

12/7

今日は、何を書こうと、話題に事欠かないことは、いいことなのだろうか。(決していいことでは、ない。)

No News is good news. とは、的を射ている。

今日もSとTだった。原因は、とてもささいなこと。木版画の木くずをとばしてTの友だちを泣かしたという。そんなことで泣く方も泣く方で、そのことは、その子に個人的に注意した。Tは、攻撃のチャンスができたので、張り切って(彼の生き甲斐なのだ) いじめを開始。それに便乗するのが、Rだ。

昼休み、教頭と打ち合わせをして、5時間目にSと教頭が話して、私がクラスにSのことを話す、その後、TとRが教頭と話すことにして実行した。第3者がかかわることで、子どもたちも少し神妙にしていた。

今日のいいことは、生活科で車椅子バスケットのチームを呼んだので4年と6年が総合にして、見学と話を聞いた。それと木版画が(TOSS ランドを参考にしてやった) 以外の他、うまく刷れたことだ。

放課後、教頭と今日のことで話した。指導の方向は、だいたい一致。

さらに放課後、中学年ブロックで研究の話し合い。(昨日の例会での授業) 研究部長は、「その時間だけ、このような流れでやって。後は、先生の好きなようにやっていいから。」「これで、できないなら先生が22時間分の指導案作ってやっていいですよ。」「この流れと先生の折衷案でできないか。」ってな具合だった。

この1週間、疲れて酒を飲む気にもなれない。

12/8

今日は、向国の椿原さんのセミナー。広川さん、仲條さん、澤田さんがいました。ものすごい国語の勉強になりました。日本各地にプロ教師は、たくさんいるんだと感じました。最初に言われたのが、生き方、生活をかえなければ授業も上達しないということ。生活を見直さなければならない。

向山氏の「春」の授業行為分析も勉強になりました。

「ごんぎつね」の授業、がぜん、やる気がでてきた！

12/9

昨日は、本を読みすぎて、睡眠があまりとれなかった。今日は、午前中からテストの○付

けなどしてチマチマ過ごした。

終業式の時、なんと2, 4, 6年の学年発表がある。4年は、この前教えてもらった手話の歌「どんぐりころころ」と今、全校で歌っている「大空賛歌」にした。

それで午後「どんぐりころころ」の2番を教えてもらいに行った。その足で町へ。紀ノ国屋で明治図書の「グレーゾーンの子」のドリルを見た。買うことにした。その足で「子ども劇場」の例会。パーカッションの演奏を聴く。今回で「子ども劇場」は、やめることにした。クラスの子が2人来ていた。

夜、「ごんぎつね」の授業の手直しをした。明日からまた、どろどろになって、やらなければならない。

12/10

S先生が、今年は、「叱る原則」を示していないと書いていましたが、それは、正解だと思いました。今日、Tにみんなの前で私としては、結構厳しく叱ったのだが、一度叱れば、それを保つために続けて叱ることになるので、少し悪循環になった。平山さん監修の「怒らない！怒鳴らない！特別支援教育の実践スキル」を読むことにした。対象を極めて深く実態分析しなければならない。

放課後、教頭と相談して、授業を妨害する場合、職員室で指導。または、いよいよT.Tみたくあくまでも学習指導として教室に入ることにした。

今回、こういうふうに踏み切ったのは、転入生のことにある。T、R、Y、H、Oの今まで伏していたことが、明るみになるようになっただけである。「学校を休まないだけでもOK」という園の考え方にも対処していく。この5人と転入生に学力をつけていくことだ。そして、他の子たちには、書くという作業で自分の意見をつけていく。

12/11

今日もTは、S子に嫌な言葉をあびせ、授業に参加しないので、職員室に連れて行き、教頭に頼む。時間の終わり頃おとなしく帰ってきた。昼休みには、おにごっこをしていて6年生とぶつかり、頭を少し切って、血を出していた。泣いていた。Tは、痛い目に遭わなければわからないかもしれないと思った。泣くのがめずらしいのか野次馬が多かった。

Tの場合は、時間がかかるということだ。

版画は、だいぶ印刷が進んだが、残念ながら印刷で時間がなくなり、後片付けは、放課後一人で20分かかってやった。

本当は、時間の中でやることなのに。国語の「つぶやきを言葉に」でみんなで川柳づくりをした。印刷して配る予定。

斎藤喜博の短歌「職場」以後に次の句を見つけた。

「一日だに安らぎなどなく根をつめ努めて五十五歳にわれはなれたり」

「教師も仕事によって不屈になるのだぞわが三十九年に得たる結論」

夜、自分の今後のことを少し考えた。

12 / 12

今日、Tは、風邪で欠席。少し緊張感が薄れる。Rは、朝自習の時、わからないので、うろうろしてちょっかいをしていることがわかった。R、Y、S用のプリントが必要なのか。

授業と関係のない物を持ってきている子が目立つ。明日、点検と個人の棚を掃除させる。

昨日、自分の今後のことを考えたと書いた。そのせいか、睡眠がうまくとれず、今日は、不調だった。Tが休んでくれて少し助かった。

12 / 14

何故、学習と関係のない物のことを書いたかという、先日Oが、「ペンライト」を持ってきて、私に見つかり、「持ってこない」ことを言った。にもかかわらず、昨日も持ってきて、それが紛失してしまった。親に電話して事情を話す。「うちの子が関係のない物を持って行ったのは、悪い。が、なくなったことは、問題だ。」という感じ。今日、紛失したことを子どもたちに話し、点検させた。が、なかった。この前は、女の子の体育帽がなくなるし、親の間では、不信感がつのっている。

また、先ほど、「Tからいじめられていて学校に行くのを嫌がっている。」と別の女の子の父親から電話があった。これも事情を話す。

今日、Tは、復活して学校に来た。今日もSとやり合う。給食準備中と5時間目に教頭の所に行く。クールダウンだ。その間に給食の準備。とTのことで話し合う。みんなの団結と闘うことを訴えた。

Sの登場で、今まで暗黙の了解（Tとみんなの関係＝支配－被支配の構造）が、明確になり崩れた。もしかしたら、これは、いいことなのかもしれない。このクラスが今まで通りだとTの独裁で終わるのが、Sの登場により覆されようとしている。しかし、これは、かなり厳しい闘いになる予感、大で、それを考えると、私がひるんでしまうこともある。が、が、Tのことも配慮しながらSや電話が来た子を守らなければならない。私が、闘わなければならない。そのためにも、教頭、校長、学年の力を借りなければならない。

12 / 14

昨日は、疲れていて日にちもまちがえるほどだった。

今日の5時間目は、6年国語の全校研「平和の砦...」だった。授業協力者、助言者とも札教研国語の方、そのシャワーを浴びた。私が、この前の例会でやったパターンで、ただ発

表させるもので何でも OK という感じ。(授業者は、そうとらえてないが、事实は、そうだ) 気になったのは、教師が教えないで子どもが文章から根拠となる単語をみつけて自分の考えを持ち、交流させるということ。無理だと思った。

今回の教課審答申でさえ、「教師は、教えることを躊躇しない。」と書いてある。テキスト(文脈)を読み解くには、それそうとうの読み込みをしなければならない。そのために発問・指示をこちらが考える。それがなかった。

今回、TOSSに関わってから校内授業研を見て、その見方が変わった。この前椿原さんは、TOSSと校内研は、対立するものではないようなことを話していた。この2つは、今後も結構深い問題であると思いますが、みなさんは、いかが考えますか？

まだ、教頭、校長の方がましなことを言っていた。「教師がしゃべりすぎだ。」「原爆の事実をもっと伝える」(授業の外堀を埋め意識を高める)など。

その全校研の間、算数の向山スキル、うつしまる君、明治図書の「グレーゾーンに対応した」プリント。(横山さん大森さん監修)を用意した。なんと T、Y は、最後までやっていた。このプリントは、すごいと思った。

全体会の後、養護園に TEL。R について話す。6 時ごろ、S 子(転入生)の母親が来て、教頭と 3 人で話す。この間ここに書いてきたことを話す。しかし、こういうことがあってから、ようやく「プロ教師」ということに目覚めた。それと何か知らないが、教頭、校長、学年の先生と会話するようになった。「困った時こそしめたと思え。」ということか。困難をチャンスととらえることだ。

今は、何か知らないけど、あまり冬休みということは、意識がない。それだけせっぱ詰まっているのかもしれない。数年前読んだ喜博さんの短歌が今読んで、また発見がある。

「一日一日を小さく積み上げ行くことにもあわれなるまでに心疲れぬ」

「かにかくにこの職で飯も食いて来ぬ家も建て子らも育て来りぬ」

帰宅して、姉(中学校教師)が入院したことを知らされた。そして、久しぶりにお酒を飲んでいる。

12 / 15

今日は、学校、買い物、久しぶりにピアノ練習、お仕事と充実(?)していた。しかし、仕事は、まだまだ終わらない。

本田和子の「子どもが忌避される時代」(新曜社)を少しだけ読んだ。

「孤児の暴力とは、秩序体系内に位置づけ得ぬ新しい創造因子が突然出現して、既存の秩序を破壊するダイナミズムの表現と見なされるのである。したがって、古代神話に現れる凶暴な童子神が荒れ狂う物語りは、いまだ経験したことの無い創造的新種の出現に出会って、それを拒否しようとする既存の秩序体系の恐怖心が描き出されているということにな

る。」「特別支援」の子は、創造的新種（？）かなと少し類推した。

12 / 16

今日は、ピアノレッスンの日。今は、もっぱら教材曲（合唱曲）の練習になっている。ともかく声を出して歌うことは、気分転換によい。ストレス発散だ。1月12日が発表会だという。久しぶりに弾くと怪我した指が痛い。もうスポーツには、気をつけなければならない。

スマートボードを頼んだ。冬休みは、練習しなければ。たまたま近くにパソコンを教えてくれる方を見つけた。やることが、どんどん出てくる感じだ。

明日は学校だ。どんな事が起きるか、考えただけで不安や恐怖さえ感じ、逃げだしたくなる。これを克服するのは、勇気と情熱と連帯か！「神様！」と言いたくなる。

12 / 17

学校帰り、病院に行って、27日にそけい部ヘルニアの日帰り手術をすることにした。ここ2ヶ月大きい声を出した時、そけい部がふくらみ違和感を感じていた。小さい時、父親から手術しないかと、よく言われていたし、何か器具を装着していたのを記憶している。加齢によって明らかになってきたというだけだが。

ということもあるし、翌日もあるので、たいへん申し訳ありませんが、例会の後は、パスさせてください。

私が、飲みたい日は、来年の3月25日、26日です。

病院の帰り、紀ノ国屋によって向山全集17「いじめと闘う」と「グレーゾーン対応の問題集」（明治図書）を買ってきた。ボーナスがどんどんなくなる。

12 / 18

TとSの関係は、だいぶ収まってきた。そのかわり、先日夜に父親から電話きた女の子が、今まで我慢していたのが爆発した。学校行きたくない（Tの暴言が嫌で）ので明日休むと母親から電話がきた。今月のトークラインにいじめのことが載っていた。いじめは、脳の一番根幹の部分が犯されると書いてあったが、本当にそうだった。そして「我慢なさい」という指導は、だめだとも。Tと他の子の関係があちこちで問題が、出てきている。教頭と話して、Tの親、担任、教頭の3人で話すことにして連絡をとった。いよいよ動き始めた。

Oの親、養護園にも電話する。46時中、張り付いていなければならない。毎日、疲れる。

12 / 19

今日、永年勤続30年の賞状を朝会時にもらった。特に感慨は、ない。

体育でマット運動連続技の発表会をした。結構、みんな真剣にやっていた。Tは、最後にヘッドスピンをやって受けていた。ユーモアは、あるのだ。

「今日はどんな日」というA4半分の印刷して、「今日のバッド」「今日のヒット」「明日に向けて」書かせて、帰りに発表させている。殺伐とした雰囲気は、ない。宿題、朝自習も毎日やることにした。親、園への電話もそのつどかけることにした。子供の作品（つぶやきを言葉に）を印刷して読んでいる。そうすると仕事が大幅に増えた。でも今は、どんな形にしろ「プロ教師」を目指したい。いや、この年でようやく「プロ」というものに目覚めたと言ってもよいだろう。まわりは、あまり気にならなくなった。後2日、やることをやるまでだ。

12/20

Tが休んだ。子どもたちに「言われて嫌な言葉」を書いてもらった。(Tとは言わない)出るわ出るわ。集中して書いていた。それだけ傷ついているということなのだろう。何もしてこなかった訳ではないが、自分の非力を思い知る。明日、Tからの「いじめ」=暴言を受けている親との話は、

①これは、組織的な「いじめ」とは、ちがう。

②ある特別な子(反抗的な)による言葉の暴力である。

③いろいろな子にも言っているが、そのつど問題にしてきている。

④管理職、学年の先生方とも話し、対策をとっている。

⑤今後とも監視体制をとって、言葉の暴力を許さない教室をつくっていききたい。みたいなことを話す予定。

例会に行く途中の車の中で体の異変に気がついた。区民センターに着いて体にじんましんが出ているのがわかった。3階に行かず、そのまま帰った。今は、ようやく落ち着いたが、まだ赤く、かゆい。今年2回目。原因は、首に巻いているマフラーが、かゆみをさそったと思われるが、やはり疲れか、何かだ。

じんましんが出るときって、熱っぽくぼーっとして、嫌な雰囲気になります。

12/21

3時間目授業の終わり、「あかねこ」をやっている時、1番前にいるY子が「先生、顔赤いよ」と言ってきた。もしかしてとして、廊下にある鏡を見に行ったら、案の定、じんましんが、顔に出てきた。職員室に行って、訳を話し、病院に行くことにした。思いのほか、子どもたちは、心配してくれた。4、5時間目の指示をして近くの皮膚科に行く。午前中の診察に間に合った。そのまま帰宅。

風邪気味にストレス、疲労がピークにきていたのだろう。薬を飲んだら、昨日と同じ全

身じんましんは、さっと消えていった。2学期ゴールに倒れるこむようなタイミングだった。気が体に出るのは、本当だ。摂生していかなければならない。3日間は、自粛、安静。

ちょうど午後にスマートボード（64インチ）が届いた。かなり大きいし重たい。

12/22

ようやく落ち着いた感じだ。今回は、ちょっと重傷だった。1日家で過ごす。読書、ピアノ、おつけ、文集作りなど。

12/23

今日、学校に行って、教室の掃除をした。そのままだったので、きたなかった。掲示してある子どもの作品をはずし、文集を印刷した。私の他に3人来ていた。

午後、スマートボードを組み立てたが、なんとスマートボードとスタンドがどうやっても合わない。結局あきらめた。スタンドが違うのが来たらしいので連絡することにした。

休みが後1日あるのでうれしい。

12/24

今日は、クリスマスイブ。息子は、バイト。娘は、高校の冬休み講習。私も朝から仕事を片付けていく。

午後、姉のお見舞いに病院へ行く。受付で旧姓で言ってしまう。いるわけがない。ようやく気がついて部屋へ。両親がいなくなって、「血のつながり」で言えば一番近い存在。50何年間見てきて、お互いに年をとったと思う。子どものころ、旭川にいた時、近所の子とよく一緒に遊んだことを思い出す。

明日、2学期最終日。よく持ちこたえたと思う。明日も気をぬかずやることだ。がんばろう！

「メリー クリスマス」

12/25

ともかく終わった。しかし、まだSとTとの親との面談が残った。Sとは、3学期にした。Tは、明日か。

とんでもない仕事がまいこんできた。2学期の時数計算だ。1学期とちがう教務のやり方が変わったのでこうなった。明日1日かける。

ヨドバシでパワーポイント2007購入。アカデミック版。その足で北大の先生の所で1時間話す。私の学級は、学校ぐるみでやるほかないとなった。

帰宅して東京と電話かけながらスマートボードを組み立てた。無事できたのでよかった。こうして2007年のクリスマスが終わった。

12/26

時数計算は、昨日資料を集めておいたので1時間で終わった。

今日は、Tの母親と教頭と3人で1時間話し合った。TにいじめられているAの作文を見せると恐縮し、手ごたえは、あったが…。昨日A子の親と1月22日に話すことにしてしたが、早めることにした。やはり親と話し合うのは、効果がある。

先月だったかの市教委の「いじめ調査」で4人いたが、すべてTだったことも伝えた。それにしてもこの調査、全校で昨年は、100人、今年は、76人いた。結構多いと思うが、どうだろう。

帰ってきて読書した。いよいよ明日…

12/27

今日は、ヘルニアの日帰り手術。日帰りなので、たかをくくっていたけど、やっぱり痛い。帰りは、タクシーにした。2, 3日自粛、安静、読書。

12/28

今日は、1日家にいて読書三昧。新美南吉の童話がおもしろかった。(屁という作品)子どもの心理をよくとらえている。

2年前、南吉を訪ねて半田市に行ってきた。生家、矢勝川、ごんげん山、記念館、岩滑小学校、半田池、養子の家、南吉の墓、中山様など見てきた。デジカメで資料として残してあるので3学期授業で使う予定。

賢治とよく比較されるが、最近、南吉の方をよく読んでいますし、おもしろい。

12/29

今日は、病院に行って、経過は順調ということであった。父親との約束を50年ぶりに果たした。

街中をゆっくり歩いていると、急いでいる人が多い。普段は、私もああいうふうに急いで歩くのだらうなと思った。

今日も読書とネットサーフィンをしていた。「お気に入り」にかなり入れた。256MBで動作が遅くなってきているので、やはりメモリの増設が必要か。

12/30

今日は、私が55年前に釧路で生まれた日だ。古い、暗くて大きな家だった。3歳までしか過ごしていないのでそういう印象が残っている。2階からは、海が見えて、2歳上の姉

と昆布ひろいをした記憶もある。その後、旭川、芦別で過ごし、18歳の時、札幌にきた。予備校、大学を経て、なんとか教員を続けている。

つい20日に、その姉が、大腸がんで手術を受けたので見舞いに行った。命までは、別状ないということなのでほっとした。父親の死の時も母親の死の時も姉と一緒に泣いていた。生まれた時から一緒に、姉だけだ。

かくいう私も27日にヘルニアの日帰り手術をした。日帰りというのでたいしたことないと思っていたが、やはりメスをいれたので、その後、たいそう痛かった。当日、自分で帰ると言っていたが、妻にきてもらおうと電話した。しかし用事で無理なことがわかった。痛くて、いらいらして2日間は、情けなく妻にあたってしまった。

今日3日目、ようやく痛みがひいて落ち着いた。レメディは、「アルニカ」を飲んでいる。この時の読書でドイツのヒットラーが、ホメオパシーを取り入れていたというのを読んだが、事実だろうか？

と、ここまでが考現学の文章だ。

今日、ゲオで「かもめ食堂」と「フラガール」と「パッチギ2」を借りてきた。前、2つは、ホームランだった。特に「フラガール」は、泣けて泣けてしょうがなかった。誕生日なので久し振りに酒を飲む。ただし、まだ痛く薬も飲んでいるので日本酒とワイン1杯ずつでやめた。

12/31

今年は、激動の1年だった。誕生日と年末が一緒なので振り返り方も同時になる。

K先生の提案に伝えたいところですが、術後初めて湯船につかり（2、3日はシャワーというお達し）、飲んでいるので要旨だけにします。

視点にライフワークとしての「教員の年代」というのをに入れてほしいことです。私自身は、すでに最高号俸（149号俸）に達しており、免許更新（25歳、35歳、45歳、55歳）をクリアし、査定昇給も関係ない地平にあります。その視点から述べると30代、40代は、ばりばりでした。しかし50代から分かれていきます。これは、その人個人のどうしようもないことかもしれません。50代の先生方もそういう年代を過ごして今があるということをぜひご理解してほしいということですね。

もう一つ、私が何故 TOSS に近づいたかということです。自称、組合派教師としては、整合性はとれません。しかし、授業、あるいは、「学級崩壊」「いじめ問題」の解決に関しては、共通性があります。端的に言えば知的レベルで非常に共感する部分があるということです。今までのやり方では、解決できない、あるいは、「学級崩壊」「いじめ問題」を通じた人しかわからないことがあると思います。そういう人こそ主幹、副校長になってほ

しい。それを若い TOSS の先生方に希望を見出すのです。

しかし、私自身も書いたように前に前に進んでいくでしょう。となると、最終的に問われるのは、「自分にとって教師の仕事とは、何か？」ということですね。

「パッチギ2」を見る。先月、井筒監督のトークを聞くことができた。1は、在日2世の話。だから「イムジン河」がでてきた。2は、1世の話。だから「アリラン」がでてきた。しかし、2のラストの歌は、最高によかった。井筒監督は、私と同じ年だ。映画にもでてきたが、奈良の語源は、朝鮮語のナラ（国、故郷という意味）だから、朝鮮は、密接に関係がある。

もう一つ言うと、浜田省吾も同じ年。それも誕生日が1日ちがいという。これは、また別の話。ちょっと書きすぎました。

よいお年を！ 来年もよろしくお願いします。

1 / 1

昨日は、叔母の家、今日は、妻の実家へ行った。子どもを連れて、つまりお年玉です。両方とも小1時間話す。

レンタルしてある「涙そうそう」を見る。脚本がちょっと強引だが、我慢して最後まで見た。ちょっと泣けた。

ピアノと三線を練習した。ピアノは、冬休み毎日、練習するのが目標。

以前、特音出身の先生と学年を組んだことがあった。その先生は、小さい頃、母親にピアノの練習を厳しく言われ、本を読みたい時は、音を出しながら読書したと言っていた。そして練習に時間をかけたので普通の人より一般常識がないのではと悩んでいた。教訓的な話だと思った。

今日は、酒も飲まず、睡眠をとりたい。

1 / 2

今日は、1日家にいた。好きな楽器の練習をしていた。それと今年の卒業式に歌う「スターライン」と「この地球のどこかで」という合唱曲の練習もした。

また、レンタルしていた「バッテリー」と阪神大震災の「ありがとう」というのを見た。私も野球が好きで、指をけがしてピアノが弾けなくても、やっぱり懲りずに野球をしている。でも息子とキャッチボールをしたのは、わずかだったなあ。

重松清が、人が人生で輝く時のことを書いていたが、まだまだこれから、輝く時があるかもしれない。それを信じて前に進もう。

1 / 3

夜、明日の仕事だった、2学期の自分のクラスの TT の入った時間割をエクセルに入れてひとまず安心した。

今日は、「東京タワー」を見た。(DVD) 作者は、私より少し歳上か。思ったことは、「親孝行したい時は、親はなし」ということだ。しかし、子どもが、8歳までで、その親に孝行している。と、誰かが書いていた。それもある意味では、真実だと思う。

明日から行動開始だ。

1 / 4

今日は、校長室で教頭、A 子の両親と面談した。A 子は、T の被害者で2学期後半に転入した S 子につられて「学校へ行きたくない。」と言い出した子である。斎藤先生も書いていたけど、以外な所から出てくるものだ。しかし、そういう要素は、持っていた子でもあり、私も意識していた子である。だから、新年早々、面談した。が、不発であった。

親であれば、自分の子どもが、T などに暴言や暴力を受けたら、やはり怒るであろう。私も一度、自分の子が、「学校へ行きたくない。」と言った時、担任へ電話したものだ。だから、そういう親の気持ちを十二分にくみ取って、安心して帰してあげればよかった。しかし、今の私にとって、3学期に T を指導できるという自信がないので、結局、あいまいな答えしかできなかった。それで、面談が終わった後も、何か、納得できず、自分に腹をたてたりした。それは、向こうも同じであろう。3学期は、きついが、A 子に本当に心から応えなければならない。

これで冬休みの課題ができ、緊張して過ごすこともできる。というものだ。

・学校から借りてきた PLUS のデジタルプロジェクター (U3-1080/U3-880) が、STATUS インジケーターが点滅し映写できないことがわかった。みなさんは、プロジェクターは、どこのを推薦しますか？あるいは、どういのを使用していますか？

私は、無線ランにしていないので、これをリビングでうっている。息子は、バイト。妻と娘は、「のだめ～」を見ている。

私は、こういう状況なので、心あらず。でもリビングに一緒にいるだけで OK としよう。

1 / 5

今日は、年末できなかった大掃除、片付けをしていた。ようやく体が動くようにはなった

が、3学期始まるまできびきび動けるかな。きれいになってうれしい。

Tの親とAの親との話し合いの違いを考えてみた。Tは、加害者の親として謝りが先にきた。Aは、被害者の親として「どうにかしてくれ」という感じだった。共通な所は、生活がたいへんということだ。今度から、加藤先生が言うように、きちんと文字化できるように冷静に意識して話し合いたいと思いました。

夜、DVDで「ホテル ルワンダ」を見た。

1／6

今日ピアノレッスンの日。卒業式で歌う合唱曲の読みやすい楽譜をもらう。この先生の手作りの楽譜には、いつも感謝している。

かなりの時間、パソコンに費やした。HP作りとパワーポイントに挑戦しているが、どうなることやら。

1／7

午前中、「ちえりあ」で都留文科大学の河村茂雄さんの講演を聞いてきた。やはり学級集団が「いじめ」を生み出すことを強調していた。「Q-U」って何だろう？

夜、パソコンでスキャンするやり方を習得した。

1／8

今日も「ちえりあ」。岡山大学の佐藤暁さんの「発達障害」についての講演を聞く。「授業は、学校全体のもの」、「子どもの学びと育ちを見る授業」の公開を強調していた。また、特別支援教育は、「すべての子どもたちの学びと育ちを保障すること。」と定義していた。

午後から「かでる」で「学校教育におけるアイヌ文化に関する講習会」に参加。4年生に配布されているアイヌの副読本が改訂されるのでその講習会。全体で100人ということ。

昨日の講演者＝河村さんの「教師力」という本読んでいる。結構、おもしろい。

1／10

河村茂雄「教師力」上・下、山脇由貴子「教室の悪魔」、内藤朝雄「いじめ学」など読了。続いて河村茂雄「学級崩壊に学ぶ」を読んでいる。

4日の面談でAの母親が、会話の流れで、「私は、(小さい頃) いじめたこともあったし、いじめられたこともあった。片親で育てられた。」と言ったので、「それは、どういうことなのですか？」と聞こうと思っているうちに、違う方へいってしまった。「片親で育てられ

たこと」と今回どういうつながりがあるのか、ここに鍵があるように思う。

H 先生、明日、14時半ごろなるかもしれません。パソコン持って行きます。

1 / 12

今日は、午前中、理科の科学の祭典の指導者講習へ行った。

科学の大道芸＝サイエンスショーを見て、TOSS と通じるものがあった。

午後からピアノの発表会。10人強の人数なのに、緊張してしまった。

発表会が、はやく終わったので、北大の青木先生の「貧困」についての講演を聞きに行った。「貧困」については、自分なりに考えていることなのでためになった。つまり、クラスの実践におこっている事柄も「貧困」が原因になっているということもあると思っている。

寒い中、帰宅。夕食時に息子と飲む。そのまま寝て、今、起きてこれを書いている。

先日は、H 先生の所へおじゃまして、いろいろ教えてもらいました。どうもありがとうございます。

おかげでスマートボードの謎が解けました。後は、自分で作ることか。使っていなかったスキャナーをインストールした。

1 / 13

「貧困」についてですね。青木さんの言葉です。

「貧困」は、政策用語である。貧困は、社会的に再生産される。それは、社会的要因と個人的要因がある。個人的要因から考えてみると、「自己実現」「個人の尊厳」「責任－自由」というものをもう一度考えてみる必要がある。個人が、どんな力量を身につけ、どんな判断をしていくのか。社会的要因からは、どういう市民を生み出し、どういう社会を形成していくのか考えなければならない。そこに子どもや教育の問題が出てくる。つまり貧困の問題を社会問題にしていくことが大切。

格差社会というのは、2極分解ではなく、「相手の生活が見えなくなること」であり「だからお互い相手のことを判断するようになる」ことである。(貧乏とか、金持ちとか)

現在、子どもは、生まれた家族によって大きく左右される。

子どもは、親を選べない。この「家族主義」が、日本の教育システムのウイークポイントだ。(つまり子どもにとって不平等ということ)「公正としての正義」その中で貧困を考える。

「～正義の公共的原理の実現にかかっている。そのことが社会に用意されなければ人間は、その道徳的能力を発達させることも困難となり、自由で平等な市民という、協働する、連

帯する社会構成員を育てられない。」

また、「自由があつてこそ責任も果たせる。」

大雑把に要約すると以上です。

M 先生の安彦氏の「道徳」の展開は、いかがでしたか？

1 / 14

河村茂雄著「学級崩壊に学ぶ」、杉田雄二著「子どもの荒れにどう向き合うか」（高文研）読了。子どもの個それぞれに、どう向き合い、語ることが今まで少なかったかを痛感した。カウンセリング手法も学ぶ必要あり。

3学期は、出直すチャンスでもある。

1 / 15

今日の例会たいへん勉強になりました。

スマートボードでの授業、百だまそろばんなど初めてで刺激をうけました。

H 先生に質問ですが、

この前、歌やビデオの速度を遅くできると言ってましたが、メディアプレーヤーの新しいバージョンですか？ ホームページからダウンロードできますか？

1 / 16

今日学校へ行って、教室の掃除をした。用務員さんがワックスをかけたので、子どもたちの椅子、机は、廊下に出ている。

テレビ台とか自分の机を入れてパソコンとプロジェクターをつなげた。

せっぱつまってから、やるが増えてきた。

休み中、北九州市立大学の楠凡之（くすのき ひろゆき）さんの話を聞いた。子どもの権利条約の意見表明権の意見の部分は、「**opinion**」ではなく「**view**」だということ。子どもから見たときの他者や世界の見え方（**view**）、感じ方が存在し、「意見表明権」とは、一人ひとりの子どもたち自身の見え方、感じ方を安心して表現し、それに応答される権利ということらしい。

1 / 17

今日は、学校へ、スキーを運んだ。うさぎ当番で、小屋へ、パンを持って行ったら寄ってきて、かわいかったな。

廊下に出ていた子どもの机といすを教室へ入れる。髪の毛を短くしたら寒くなった。夜、文書類の整理。

1 / 18

かなりきついボディーブローが入った。今日、午前中、学打ちの最後に相方の女先生から、休み中（1月7日の午前中）、クラスの子の郵便受けにこんな紙が入っていたと見せてくれた。なんと、ちぎれた紙は、算数ノートスキルの切れ端だった。ということは、確実に私の組の子の仕業だ。その文面たるや、「うざい、死ね」などかなりひどいものだった。すぐにこれは、私の印刷したプリントとは、言えず、教室に行って一息ついてから、「今、調べてきたけど同じプリントで、私のクラスの子かもしれない。」と伝えた。相方は、そう、ふんでいたようで（私のクラスが荒れているのを知っているから）、自分のクラスの子なら、こういう名前を書かないなと言っていた。

かなりのショックだった。帰宅して字体や同じ地域の子を考えて、だいたい似た字の子を見つけた。なんと言っても、休み中のことで、そのプリントは、まちがいなく私しか使用していない。残念ながら、私のクラスと100%認めざるを得ない。

明日、別の件でこの子の家に電話して教頭にも電話しなければ。校長が始業式で休み中こういうことがありましたと話すみたいなので。3学期もたいへんだ。

1 / 19

昨日、病院に行って、完治した。これで大きい声だしても力を入れてもいいということだった。

これも昨日。学校でスマートボードをつないで無事、操作ができた。が、今しばらく慣れるまで、向かいの教材室に入れておいた。みなさん、スマートボードの最初の授業っていかがでしたか？

今日、近くにパソコンを習いに行った。わからない操作を聞いて教えてもらう。帰ってきて子どもの掲示用の名前シールと当番表を作った。

1 / 20

いよいよ明日から3学期だ。なんか今回緊張します。

学校が始まったら、今までのように書き込みは、できないと思います。

SNS の日記は、今日の自分を振り返るいい機会でした。これから毎日、無理ですが、問題が起こった時、多分書きますので、またいろいろ教えてください。みなさんの意見がとても参考になっています。よろしくお願いします。

2 / 1

3学期が始まって既に2週間が過ぎた。その間に「ごんぎつね」の研究授業をした。

とにかくなんとか2月までこぎつけた。毎日が必死だったし、泣きたくなるような日々だ。H先生が年休のことを書いているが、私も、もう年休全部つかっても3学期は、OKなのだ。そう開き直って考えると、やや余裕がでた。

Tが、ほんの少し変わった。始業式の次の日、私が考えた案で席替えをして、TやHを一番前にした。Hは、だめだが、Tは、プリントをやるようになった。親と話した成果か。

「泣いても笑っても後2ヶ月」「クラスの誰と心中するか」この2週間で考えていたこと。

2 / 3

昨日は、野網さん、河原木さんの講座。英会話と音楽だった。野網さんは、とてもパワフルな方ですね。TOS S英会話を体験した。河原木さんも作詞、作曲してすごい人だ。100玉そろばんもよかった。冬休み中、サークルで体験していたので、わかりやすかったです。

「リズムとテンポは、ちがう。」「リズムを安定すること。」など学んだ。自分自身、リズム感は、それほどいいとは思っていないので今後の課題となった。

今日は、午前中、ライセンス・ツアー。山本先生でしたか、TOS Sデーの講師の話で、「熱意を伝える3要素」の言語、音声、視覚で言語が7%には、驚いた。自分自身、この言語にかなりのウェイトを置いてきたからなのだ。これで私の欠点が見えてきたように思った。

午後から、学生セミナー。家から歩いて15分だが、場所が変わっていたので、5分遅れた。実は、染谷先生の話が、この2日の学びで特に心をひかれた。「こいつさえいなければ...」という子どもから1番学ぶ、「教師は、いかなる場合でも冷静」という姿勢には、共感した。

2日間とてもいい学びだった。TOS Sを知ってまだ1年もたっていないのに、いろいろな方に出会えてうれしいし、またとても奥が深いと感じている。

2 / 4

スマートボードで授業を2回した。1回目は、例会でした「およその数」、2回目は、「ごんぎつね」、新美南吉、半田市の写真だ。全文もスキャンしたが、結局使っていない。Rが、すぐさわりに来て、困った。(困っている)

さわりに来る子どもへの対処の仕方では何かいい方法がありましたら教えてください。H

先生は、「どんどんさわらせてら」とアドバイスくれましたが。

スマートボードとパソコンをUSBでつないで、ソフト（スマートノートブック）を開こうとしても開きません。USBコードをはずすと、ソフトを開くことができ、またUSBをつなぐということをしてはいますが、そんなことは、ありえますか？

9. 7ですが、インストールが悪かったのか。

今日、月曜日は、例の6人のおしゃべりが多い。「作文ワーク」（明治図書発行、グレイゾーン対応）の時は、一瞬静かだった。それに6人ともやっていた。染谷先生が、「教師がどなっていると子どもに耐性ができ、さらにひどくなる。」と話していた。おしゃべりの耐性ができてしまったのか。あの手、この手を使っているのだが、多分、まだまだ策が足りないだろう。

2 / 6

パソコンのメモリを増設した。512MB追加して750MBぐらいになって少し速くなった。それでも足りないでしょうか？将来的に1ギガにする予定。

TOSランドの教材やグーグルアースは、教室でネットにつないでないと使えませんよね。

2 / 7

今日は、2月7日。朝、歩きながら考えた。Tが荒れ始めてもう1年たつんだと。よく1年もったものだ。おしゃべりは、相変わらずだが、最近少し変わった。1番変わったのは、私だが。

しかし、授業は、毎日、厳しい。授業スタイルは、すっかり変わってしまった。授業はじまり15秒のつかみ。子どもへの行動の投げかけ、子どもとの接し方など。体力がいる。授業が終わったら、どっと疲れる。今にも倒れそうになる。3月25日まで持つか心配だ。

先日の学生セミナーで最後のQアンドAで「TOSを知ってどのように変わりましたか」という学生からの質問があった。高杉先生が「雲泥の差だ」と言っていた。私も子どもの見方が変わり、何事にも真剣になった。

明日は、スキー学習。それから3日間の休みだ。

「ふと空を見上げ下ばかり向いていた自分に気づく」
ごんぎつねのように、今朝、空を見上げてみました。

2 / 9

今日から3日間の休日。昨日は、スキー学習、職員会議、卓球の試合があって、帰宅して1週間ぶりに飲んだ。もう金曜日しか飲めない。飲んだら聴きたくなるグレン・ゲールド（ピアニスト）コレクションを見ていた。

3日間やることを考えた。

- ・おつけ ・校務分掌のプリントづくり ・理科実験の準備
- ・総合、社会、道徳の授業案 ・3つの原稿を書く
- ・ピアノ練習 ・40周年の係の仕事など

毎年ながら3学期の真ん中、ちょうどいい一息つける休みだ。

荒れて1年と書いた。1年たつと、いろいろわかってくることがある。それは、私自身が学習したことにもよる。

①3年生の時、A子が、日記に「いじめられて死にたい。」と書いてきたことがあった。その時もA子や関係の子どもを呼んで話し合い、加害者の親にも連絡した。A子の親に連絡しなかったのは、実に片手落ちだった。

子どもの「死にたい」は、「先生、もっと見て、助けて」ということが、わかった。

②特別支援の子に、例えば「図書室で静かに読書できないなら教室へもどきなさい」と言ったら、本当にもどるということ。

その言葉、額面どおりに行動してしまうということ。だから特別支援の子への言葉がけは、慎重にしなければならない。

友達どうしの諍いで「死ね」と言われたら、そういう行動にも走りかねない。

先の指示は、「教室でプリントをやってもらいます」とか具体的な行動指示を出すとよいことがわかった。

2 / 10

休日2日目が終わる。昨日は、岸田典大のライブを道立文学館まで聞きに行った。これで2回目。ちょっと風邪をひいていたみたいで読む時、つらそうだった。「ウシバス」をやっていた。今日は、午後からピアノの日。ピアノの先生と2重唱を楽しんだ。リズム感をつけるレッスンでは、たいへん疲れる。リズムとテンポは、違うことを教えてもらうが...

午前中かかって大物の原稿を一つ仕上げた。これで少し気が楽になった。

昨日は、ゲールド演奏のベートーベンの「皇帝」を聴いた。今日は、これまた大好きなルドルフ・ゼルキン（77歳の時の）の「皇帝」を聴いた。ゲールドは、単調な旋律を抑揚と音色で工夫したことを言っていた。

さて、クラスが荒れて1年、わかったことの続き。

③クラス危機は、11月と2月は、本当だった。3年の11月

～12月ごろから全体におしゃべりが増え、変だと思った。

そして昨年(2017)の2月、ついにTが荒れ始めた。最初は、次の3点。

- ・授業中、鉛筆でなくボールペンで書き始めた。
- ・ポートボールの試合で負けるチームだとわかると参加しなくなった。
- ・リコーダーを吹かなくなった。

この3点に私は、しぶとく食い下がった。結果は、より反抗をかったただけだった。今、考えると当然ですね。

今なら違う対応の仕方ができる。

④3年の最初の出会い「黄金の3日間」をやらないと、後々まで影響があるということが、痛いほどわかった。それは、後にOとの話で、「最初、この先生は、どんな先生か、ためし たかった。」と言われたことで証明された。

2 / 11

今日で3連休も終わり。とほほ...、明日からまた闘いが再開か！

今日は、朝9時半から16時半まで「かでる」でホメオパシーの講座を聞いていた。(ホメオパシーについては、ヤフーなどで検索するとすぐ出ます。ホメオパシー振興会、宗教ではありません)

午後は、「発達障害の子ども」についてだった。

「その子を外から見たらどうなのか、について私たちは、私たちの都合からその子を見ている。その子に基づいて見ていないので、いろんな物事をちゃんと解決できてない。」

「相手のことをわかっていない。わからないとこわいのである。」と、というような話だった。ところで、どなたか「ごんぎつね」の絵の指導の資料、お持ちでないでしょうか？

2 / 20

10日ぶりに書きます。

状況は、相変わらず、厳しい。1日、1日が、なんて長いことかと思う。(こういう感覚は、多分、わからないと思いますが...)

今、思うことは(望みは)、「この苦しい体験の次に来るものは、一体何か」ということです。それを知りたいです。

16日に「上達セミナー」に参加。小野先生の子役には、脱帽でした。模擬授業を見て、

まるで自分のクラスを第3者的に見ているようで、驚きでした。同時に勉強になりました。

コメントからは、そういう子どもたちに対して、やっでは、いけないことを胸にきざみました。例えば、子どもの高さで一番つかみやすいのは、腕の部分、そこを持つと、まるで連行されているみたいに感じる。実際、隣の人どうしでやってみて、それがわかりました。このことだけでも価値がありました。

今、体育でポートボールをしています。能力的に男女別のチーム編成をしましたが、どうも勝敗にこだわります。そして、女子は、かえって伸びていきけません。それで今度、混合にします。ポートボールの男女別、混合の善し悪しを みなさま、教えてください。

2 / 28

「50代教師」

08. 2. 28.

①「50代教師」に起こっていること。

- ・早期退職の増加
- ・休職（精神的、体的）
- ・「学級崩壊」
- ・「窓ぎわ化」

②「50代教師」を定義すると

- ・学級王国
- ・組合的
- ・「やさしさ」と「暴力」
- ・話すことが得意ではない

③年数で言うと

1947年（昭和22年）～1957年（昭和33年）

- ・団塊の世代とその後に続く者
- ・「戦後民主教育」を受けた、1950年代、60年代の教育
- ・青春期为1967年～1977年という激動期

④私が50になる時の選択

- ・生活をベースにして
- ・（ ）の道
- ・（ ）派教師
- ・（ ）実践家
- ・（ ）に生きる

⑤向山氏との出会い

- ・「教師修行10年」（斎藤喜博を追って）
- ・若いころの生き方に親近感（学芸大学時代、新卒時代、社会科の授業を創る会）
- ・現在の学級の問題
- ・「向山氏は、なぜ（ ）をめざさなかったのだろうか？」
- ・壮大な計画（T O S S L A N D）

やっぱりレジュメだけでは、わかりませんね。

2 / 29

やっと金曜日が来た。同時に2月も終わり。毎日が、1歩前進2歩後退という感じだ。

6人は、相変わらずだ。Fという男の子を入れると、ちょうど2割、20%になる。そんな数字合わせをしている場合ではないが。

Tが、体育館で遊んでいて、友だちとぶつかり手を骨折した。ギブスをしているのに今日、ポートボールのゴールマンをやらせろと、せがんできた。

Rは、いぜん授業に参加しないで、ちがうことをしている。彼の大声、物をたたく癖には、ほんとに参ってしまう。いろいろ書いていけば、きりがないのでやめるが、「ここは、教室か!？」と立ちすくむこともあった。

わかったことがある。「彼らには、今、そうすることの理由がある」「そうせざるをえない必然性みたいなものがある」ということだ。

だからと言って、彼らの行いが、正当化されるものではない。ということも事実。その狭間に1年間いたことになる。

3 / 1

2月は、正直つらかった。冬季○○で学校へ通うのが嫌だった。雪降りも影響した。なんせ景色が12月だったから。

昨日の夜から拓郎を聴いている。1972年、20歳の時にLP「元気です」を買った。拓郎の曲を聴くと20に戻れる。

今日は、10時半から4時過ぎまで札幌学院大学で「北海道子ども虐待防止フォーラム、専門職のための子どもの虐待に関する研修」に行った。

午前中は、精神科医の滝川一廣氏の講演。またまた勉強になった。印象に残った所だけ、箇条書きにすると、

・昨日書いたRのような苦痛を与える音声を「アラーム」と言うらしい。「なんとかしてくれ」という訴え、メッセージであるということ。

・不快な音の刺激は、耳を塞ぐかその場から逃げ出すか。(そういえば、クラスがうるさくなると私はよく廊下に出た)

・「発達障害」の子は一般に育てにくいので虐待される可能性がある。

・虐待は、ゆとりの問題で愛情の問題ではない。(ここの部分が一番ひびいた)

・その「ゆとり」を奪うものは、経済的困難＝生活苦だ。

・「ゆとり」の喪失が虐待を生む。

・虐待は、2つある。今述べた①経済的な問題と②家庭内対人関係(夫婦)の不和である。

・「発達障害」の子は、感覚が分化していない。(これもあてはまる。クラスの6人の子だけが暑いと言ったり寒いと言ったりしている。)

・虐待は、暴力的なしつけなので本当の意味の意志形成が阻害されている。怒りや攻撃的になるのは、当然。(昨日書いた必然性と同じだ)

・怒りや破壊、攻撃がコントロールされるとよい。

・トイレトレーニング(しつけ)をずっと後からすることになるので手間暇がかかる。

・だから最初から多くを要求しない。(70%主義!)

・スモールステップ、一人でやらせない(寄り添う)

・出来た時は、喜ぶ。(ほめるということ)

結構、通じるものがあった。

3 / 8

熱血教師SP第2夜を見た。浜田雅功を見直した。う〜。昔の熱血教師の血が、うずいたな。もう少し気楽にやろう。

3 / 15

今週もたいへんだった。月曜日、学校の駐車場（？）から車を出すのにコートも着ないで雪かき、火曜に玄関装飾で寒い中やっていたので、風邪をひいてしまった。昨日、1時間目だけ学校へ行き、指示をして病院へ行った。

Rは、相変わらず、自分に気に入らないことがあると、机をたたき、ドアを蹴飛ばし、「暑い、暑い」と言って、全部の窓を開ける。（自律神経の影響か寒暖の感覚がちがう）

Tが、切れて、A子にまた暴言を言う。Tが机につっぷしたまま、なかなか帰らないので、少し話した。自分にやさしくしてほしいということがありありとわかった。以前、Tが「もっと、やさしく言ってくれれば、いうことを聞く。」と言っていたことを思いだした。夜、A子の家に電話すると、後もう少しなので、クラス替えの時、配慮してほしいということだった。疲れ果て、通知票の仕事も重なって、例会は、休むことにした。

一年生に「ごんぎつね」の朗読会をした。Y子以外全員読んだ。絵本からスキャナーで取り入れたのを写しながらした。これは、結構よかった。終わってから時間があつたので1年生がじゃんけんで勝ったら10歩おんぶする簡単なゲームをする。

小田実の「遺す言葉」(ETV)を見る。彼の「なんでも見てやろう」と寺山修司の「書を捨てて街に出よう」は、60～70年代若者のステータスだった。小田さんは、ガンに侵され病棟で聴いていたのは、ベートーベンの「皇帝」だった。私も20代によく聴いていた。それを改めて聴いてみた。小田さんは、若い頃の情熱を最後まで持続させたのかなと思った。

当時、札幌には、3件のクラシック喫茶があつた、スガイの近くにロマンツアー、狸小路にウイーン、北大近くにコンサートホール。こんなことまで思い出してしまった。今あるのは、2年前寄ってみたウイーンだけ。

3／16

金曜日は、1時間目に早退した。もしそうしなければ、体は、ひどくなっていただろう。精神的にも体も、休養を求めている、と思う。実際病院に行ったのは、午後2時すぎ。

今日、学校へ行つてそのままになっている教室を掃除した。
ゴールは、見えているが、遠い。ものの本によると、子どもは、1週間でも永遠に感じるらしい。そうすると私は、子どもと同じか。

時間が遠いのと、子どもも遠いのだ。こうしている（土、日の）現実と例えば明日の教室の現実が違いすぎる。人には、許容出来る現実とそれを超えた現実があるなら、今の教室は、後者だ。

だが、それを作り出したのは、私でもある。今思うことは、こういう教室を2度と作らないことを胸に刻むことだ。何でこうなったか考えることだ。そのためにもつらいが、最後まで見届けなければならない。と思う。

2月29日の日記にこう書いた。

『わかったことがある。「彼らには、今、そうすることの理由がある」「そうせざるをえない必然性みたいなものがある」ということだ。

だからと言って、彼らの行いが、正当化されるものではない。ということも事実。その狭間に1年間いたことになる。』

例えば、Y子。給食後、ストローを包んでいるビニルか、あれをガムみたくかんでいる。「やめなさい。」と言っても、やめない。あれは、口が寂しいのだ。母親と早く別れて寂しさのあまり癖になった。いわゆる口唇期を通過中と言ってもよいのだろう。

Tもそうだ。夜、母親は、働きに行く。朝まで2人の姉と過ごす。男としても寂しいのだろう。だから昨日書いた「やさしく言ってくれ」となるのだろう。

先週の日曜に放映していたNHKの「教育」のビデオを見た。結局、教師批判に終わっていたように感じた。

風邪をひいて、病院でたくさんの薬をもらった。マニアックに一つ一つ、ネットで調べた。とてもわかりやすく便利だ。ずいぶん薬の知識が増えた。

3／17

今日は、3時間目、社会科の授業が途中からTやY子の私語で成立しなくなったので、すぐやめて、用意していたビデオを見た。確かに「わたしたちの札幌」の北海道の部分を読んで、説明するだけなら、TやY子は、あきてしまうだろう。一応ビデオ「木を植えた男」は、見ていた。

その部分を読んで、大事な所を要約して持ってきたとか、グループ学習とか、方法を変えてやってみよう。

私は、思うのだ。特別支援のクラスが校内にある。在学は、一人で先生一人。5年生になる時、Y子を特別支援のクラスと考え、教頭や園にも話した。しかし、どちらも否定的だった。

その訳も聞いたが、はっきりしなかった。どうやら、習熟度別学習や低学年の先生も入ったTTの強化を考えているらしい。

その子にとって、一体どちらがよいのだろうか？ 普通学級でこのまま、進むのか、特別支援学級か？ これも1年間、考えてきたことだ。

3 / 18

昨日の反省に立って、今日の社会は、うまくいった。確かにY子は、普通学級では、力はないだろう。今日も授業中に後ろにあるパイプによじ登って、降りれなくなって、私に「助けて」と救いを求めている。既に見慣れた光景となった。勉強は、一切しないのだ。放課後、特別支援の先生と話し合った。

が、やはり普通学級という話だった。校内にあるのなら、1日、2時間とか通級でできればと思うのだが。今も様々な場面で「～学級へ行くぞ！」みたいなおどし文句で使われている実態がある。(一般的に)

同じように一切勉強しないのが、RとTとS子とHとOだ。(ただし自分の気に入ったのだけはやるか、こちらが厳しく注意するとやる) 何回も書いているが35人中6人だ。こっちが気をぬいたら他の子を持っていかれる。だから以前書いたように、「ここは教室か！」と叫びたくなるし、「戦場」とも思う。「戦場」であれば武器は、T O S Sということだろう。

ほんとは、こんな言葉は使いたくない。群馬県島小にいた船戸咲子先生は、「子どもの海」と表現していた。原初生命体の海と思いたいのだが。

こうなった原因は、

①子どもに迎合した学級指導。

②我流の授業。

最近のトークラインで神谷さんが書いているように授業と学級経営力の問題だった。

Rが、お別れの文集で「もうこのクラスには、あきた。クラスが変わってちょうどよい。」と書いていた。2年間、すでに煮詰まったのだろう。2年間ぐらい耐えられるような学級をつくりたいものだ。

ベートーベンのピアノコンチェルト第5番「皇帝」を聴いて何故か元気が出る訳がわかった。当時ベートーベンの住むウイーンがフランスのナポレオン軍に攻められて、砲弾の飛び合う戦場の中で作られたという話だ。「戦場」だからだった。

3 / 19

神谷さんは、「学級経営力と授業力は、車の両輪」と書いている。昨日そのことに触れた。
それに加え、3年の時は、

③リズムとテンポが完全に悪かった。教室がシーンとしていたことが、多かった。それが
授業スタイルと信じていた。

④一時に一つの指示でなく、混乱を招いていた。

⑤指導が、しつこかった。

こういうことが続けば、崩壊もやむなしか。

2月の学生セミナーでT先生は、第一声で「学級崩壊をなおすのは、簡単だ。」と言われた。
つづいて「それは、担任を変えることだ。」と言った。

それは、その通りだと思った。現に昨年、私は、校長に担任を変えてくれるよう頼んだ。
あれは、本能からだったのだろう。

そして「教師の責任」ということを考えた末、1年前の春分の日に携帯で撤回した。

この1年間は、自信喪失から学習の日々だった。

- ・神通力が通じない
- ・パワーが出ない
- ・オーラも出ない
- ・余裕がなくあたふたしていた

昨年の石狩のT O S Sデーで杉本先生は、「1年間でまんするしかない。」と教えてくれた。
その1年がすぎようとしている。

まるで「ゲド戦記」(ル・グイン)の年老いたゲドのように若さや自信をなくした自分を見た。
これが現実で素顔か。

その中で学んだことも数かぎりなくあった。

①したたかに生きること。

②「地の利、時の運」があること。

③〇〇教師として生きる。

S子が朝、玄関の廊下で泣いていた。と、先に教室に来た子が教えてくれたので、向かえに行った。2月の上達セミナーで小野先生が教えてくれたように手をにぎって持って、教室まで

連れてきて、訳を聞いた。(これも学んだこと)

なんと朝、食事の時、母親とケンカして、母が「そんなこというなら死んでやる。」みたいなことを言われて、それが心配で泣いていたらしい。まだ母親と話してないが。

それが卒業式では、一番ふらふらしていた。

3 / 2 2

以前、SNSで女子のことが話題になっていた。実は、私も同じように思っていたが、発信する機会をのがしてしまった。

先日、病院の待合室で「ゲドを読む」の本で訳者の清水真砂子さんの次の言葉にひきつけられた。

『でも、豊かに生きている女たちはみんな雄々しいかもしれません。男たちも抱いて生きているんですもの。ゲドが挫折し、ただ何だと泣き事を言ったとき、テナーが「女は、とくに挫折なんか慣れている。」と言うところがあるでしょう。私は、あそこを訳しながら、そうだ、そうだと思っていました。男たちは、思うようにいかないと、すぐ、ああ、だめだ、だめだ、大変だ、と言う。女の人なんて思うようにいかないことなんて四六時中あるわけで、免疫ができていますよね。』

昨年からの1年は、まさに弱音の1年だったと思う。少しは、免疫ができたかな。それともPTSDか!?

子どもとの会話、あるいは、子どもどうしの会話は、何故、必要か? お互いが、お互いを知るためだと思う。

冬に聞いた、北大の青木先生の言葉が、ずっと残っている。

「格差は、経済的なことその他、お互いが、お互いに知らないということ。」

無論、全部知ろうなんてことではなく、会話、対話、討論を重ねながら、お互い＝人間どうしを知って、成長していくことなのだろう。

3 / 2 3

今日は、午前中、学校で文集を作った。その足で例会へ。

私の話は、まだすっきりしない所がある。木曜までなおせるか？

多分、この2年間の意味は、もう少し後になってからわかるのかもしれない。

いよいよ後、2日となった。ゴールが、見えたからなのか、やけに落ち着いている。

しかし、明日帰り際に、転勤のことを子どもたちに伝えようと思っている。

今度は、隣の校区で、歩いて15分と近い。地の利はある。

最後の学校となるのかな？

3 / 25

今日この日が来たことを素直に神様に感謝したいと思います。

今日でようやくわかりました。結論は、4年に持ち上がってよかったと。

離任式、そしてその後の子どもたちの自発的な行動に、はからずも涙してしまいました。

「先生、もっと泣いていいんだよ。」これが、10歳の子どもの言葉かと思いました。

逃げなくて良かった。

3 / 26

指導要録で苦労している。情けなや。向山氏は、12月に終わっていたと書いてありましたね。今度からそうしたいです。

後、莫大な量の引っ越し。家に置くスペースがない。必然的にベランダとなる。

情報で1年担任とわかった。これをどうとらえるか。T O S Sを知った後の1年生担任だ。今までとは、違う。

さっそく100玉そろばんを購入しなければ。

3 / 27

今日、転勤する学校へ行った。隣の校区なので歩いて20分。ちょうどよい距離だ。

崩壊学級でなく1年生、28名ぐらいということだった。毎年のことであるが、自分が、普通に評価されないのが、つらい。しかし、臨採の方からみれば、そんなこと言ってもらえないのだと思う。

今の前の学校には、たった3年しかいなかった。親から校長へ私の批判の手紙がいったり、当時も1, 2年で2人の大変な子どもを抱えていた。そして逃げるように、今の学校へ来た。

あれから5年たった。すっかり年をとってしまった。

前の学校で「これ以上、大変な子には、出会わないだろうな。」と思っていたら、今の学校でTやH、R、O、Y子、S子に出会った。これで本当に免疫ができたか。

5年前、同じように春休みに今の学校へ来たとき、当時の校長は、初めて会ったのに私一人だけ残させ、説教みたいなことをしゃべっていた。

今日、そのことを思い出し、何か言われたら、今度は、戦うつもりだったが、そんなことは、なかった。

あのことは、完全にPTSDになっている。

今回の子どもたちのことも、最終日にああいう別れ方をしなければ、その可能性は、あったし、燃え尽き症候群の可能性は、ある。

これから、どういう過ごし方をしようか、ゆっくり考えていこう。まずは、体をつくり治したい。そういうことを考えれば、もしかしたら1年生担任は、ラッキーと思いたい。

3 / 28

今日は、教室の荷物の引っ越しをしたのだが、まだ終わっていない。日、月と運び続けねば終わらない。

午後から北大の教育臨床士の先生と最後のカンファレンスを行った。また痛い所をつかれた。今回の件は、「50代教師のマイナス面が出たこと」「同じあやまちをしていること」「態度と技術がなかったこと」「4月の出会いを大切にすること」など。

この先生とは、昨日書いた、今の前の学校の「大変な子」2名を持った時からの付き合い。一度途絶えたが、今回の件で昨年2月から相談していた。が、今日で終わることにした。

今の前の学校では、2人休職していた。そのうち1人は、養護教諭で、随分話した。が、その先生も途中退職。今の学校でも1人休職中。今年の退職欄にも休職していた先生の名前があった。いずれもすべて同年代。

事務官に聞いたが、休職していても10割給料が出ているということだった。3年間、休職して、そのまま退職という手があることもわかった。とほほ...

こういう話を聞くと、たとえ逆境でも、やはり、明るく学び続けたいと思った。

3 / 31

金、日、月の3日間かけて教室の引っ越しをした。3階からおろして、車で8回ぐらいかな、エレベーターで10階へ。半端な量でないので、さすがに疲れた。

最後、教室を出る時、一礼した。この子どもたちに出会わなかったら、こういうこともなかっただろう。

帰り道、養護園に寄ってRとY子に会ってきた。明日から新しい学校だ。